

宮城県計量協会のあゆみ

一般社団法人

宮城県計量協会

宮城県計量協会のあゆみ

日本の計量制度は、大宝元年（701年）大宝律令に始まり、その後幾多の変遷を経て明治8年政府が度量衡取締条令を公布、宮城県においても計量関係事務を開始し、明治24年3月23日度量衡法が公布、明治25年宮城県常置度量衡器検定所が設置され、明治37年1月1日宮城県度量衡検定所が発足しました。

また、計量団体においては明治44年4月（社）日本度量衡協会が設立され、その後宮城県計量協会は、大正6年9月15日日本度量衡協会宮城県支部を設立したのに始まります。このときの支部長が阿部亀彦氏（歴代内務部長）・副支部長に伊藤貞次氏（歴代勸業課長）が就任し、以来98年も経過しております。

（社）日本度量衡協会は、度量衡の統一・計測に関する研究調査及び知識の交換・計量思想の普及ならびに関係事項の改善発達を図ることを目的とする文化団体として設立されたものであり、その事業目的、特にメートル法の普及推進活動は、各県支部組織を通じ各支部独自の活動に準じ、極めて密度の高い団体として協会の社会的地位もかなり高いものとなった。これが昭和26年計量法の制定施行に伴い改名され（社）日本計量協会となり、また、平成5年新計量法が施行され、そして平成12年中央計量3団体統合により（社）日本計量振興協会として計量思想の普及啓発にその役割を果たしてきたのである。

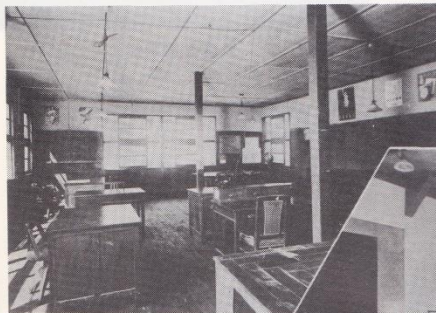
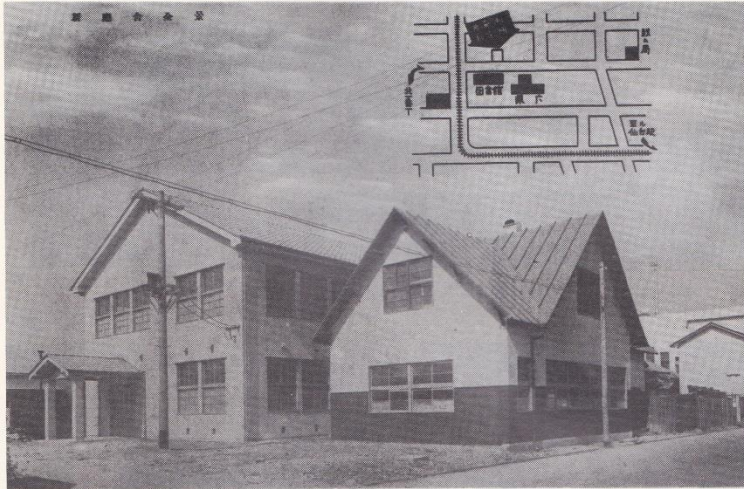
（社）宮城県計量協会は昭和27年9月17日（社）日本度量衡協会宮城県支部を発展的に解消し、宮城県計量協会として発足し、会長に大内源吾氏、副会長に遊佐広太・鈴木利平氏が就任した。その後、昭和33年6月（社）宮城県計量協会に改称し、平成24年4月1日に一般社団・財団法人法・同整備法により（一社）宮城県計量協会に移行改称した。その間会長に遊佐広太氏・副会長に鈴木利平氏（協会事務局長には歴代計量検定所長が就任）が就任し、その後、鈴木利平、鍋島綾雄氏、そして現鍋島孝敏氏が会長に就任し現在に至っている。

このように文化団体としての計量協会も、時代の変遷とともに、国を挙げての行政改革・情報化技術産業全盛時代を経て、さらには計量の国際化・技術革新・消費者擁護の時代を迎え、団体のありかたが問われ、組織並びに財政基盤拡充のため、さまざまな事業が導入され、時代の要請に対処することとなりました。

本会の事業としては、計量思想の普及啓発活動を柱に、代検査の実施（昭和58年）・計量証明事業の導入（昭和61年、平成23年度廃）・工業品材料試験の受託（平成8年）・仙台市指定定期検査機関の検査導入（平成14年）・日本郵政グループ等の計量管理受託（平成16年）等公益・収益事業に取組み、飛躍的な発展を遂げてきました。

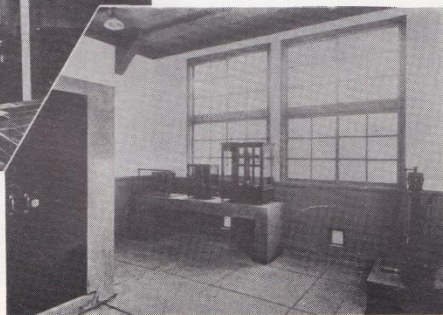
平成27年

宮城県度量衡検定所（昭和26年8月）

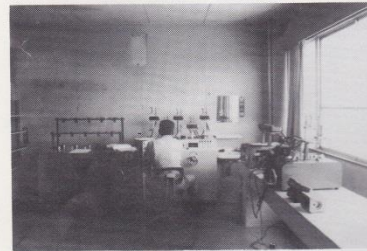


事務室

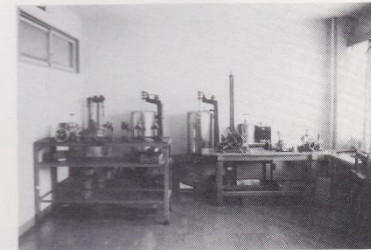
天秤室



宮城県計量検定所（昭和45年12月16日竣工）



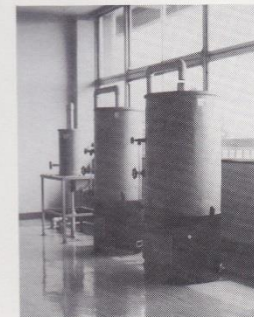
タキシーメーター頭部検定室



温度計検定室

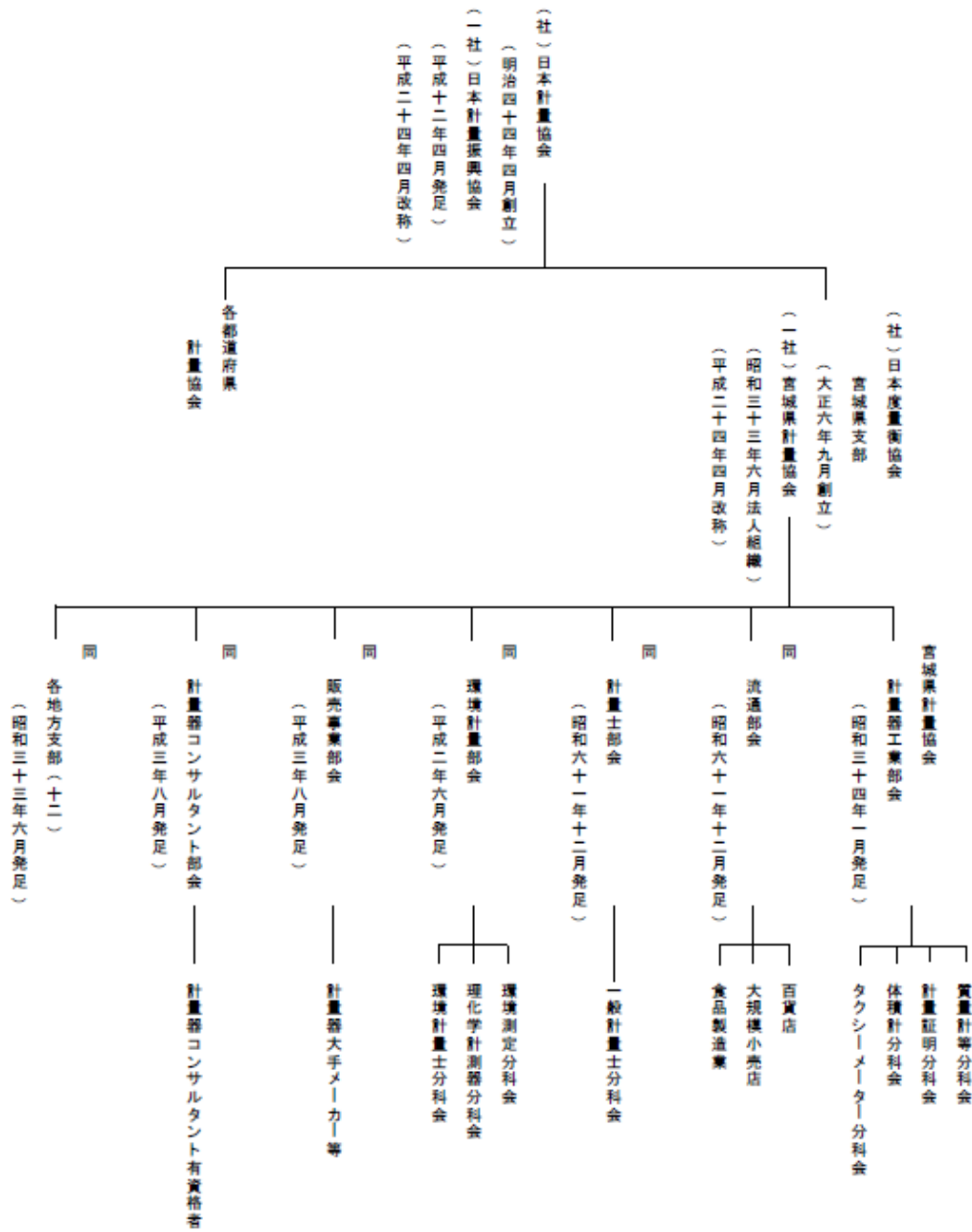


試験室



タンクローリー検定室

計量協会の組織



計 量 協 会 の 事 業 概 要

(一社) 宮城県計量協会	計量器別・事業者別部会	(一社) 日本計振興協会
(目的) 県民の正しい計量思想の普及並びに計量意識の高揚を図り、豊で快適な生活のための適正な計量の実施の推進及び計量関係者の連携を深め、もって県民の計量文化の向上に寄与する。 (事業) (1)計量に関する知識の普及、啓発 (2)指定定期検査機関に関する検査 (3)計量器・計測器の検査及び計量管理等 (4)計量計測試験機の検査校正 (5)官公庁からの受託 (6)県収入証紙の売り捌き (7)その他本会の目的を達成するために必要な事業	(目的) 一般社団法人宮城県計量協会の主旨を体し、計量思想の樹立と会員相互の連繋の強化を図り計量界及び企業の進歩発展に寄与する。 (事業) (1)計量器の精度向上並びに大気汚染・水質汚濁・騒音等に係る計量、質量、長さ、体積等の計量の適正化を図るための技術に関する研修、講習会開催 (2)各計量別事業者別の行う計量活動の効率化の推進を図るための施策を講じる (3)健全な事業の発展及び合理化に関する研究施策の普及 (4)部会の種別 ①計量器工業部会 ②環境計量部会 ③流通部会 ④販売事業部会 ⑤計量士部会 ⑥計量器コンサルタント部会	(目的) 正しい計量思想の普及を図るとともに適正な計量管理を推進し、併せて国際整合性を有する計量制度の確立を支援することにより、国産産業・社会の発展に寄与する。 (事業) (1)計量及び計量管理に関する普及啓発 (2)計量士の資質の向上及び計量管理に携わる者の育成 (3)計量及び計量管理に関する技術の向上促進 (4)計量器・測定器及び分析機器の検査校正 (5)計量及び計量管理に関する受託 (6)計量標準供給に関する普及促進 (7)計量及び計量管理に関する調査研究 (8)計量及び計量管理に関する情報の収集及び提供 (9)内外の計量関連機関との交流及び協力 (10)その他本会の目的を達成するために必要な事業

宮 城 県 計 量 協 会 の あ ゆ み

年 代	日本の計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
明治元年 (1868)	3 月 松平慶永、度量衡制度を確立すべき事を建 議		明治元年、明治新政府はまだ度量衡を管掌する組織がなかったため、 旧幕府納戸頭支配、秤改役守随彦太郎の管掌地区（東 33 ヶ国）の配下 に秤改座の旧称で権衡制作人を管掌する仙台北出張所の名代役人として 安藤新左エ門を当たらせる。
明治 2 年	11 月 度量衡事務大蔵省の所管となる		
明治 3 年		11 月 羽前国山形並びに近国柞取付売捌人として陸前国宮城郡 仙台北分町渡辺善七郎の名がある。	検定所の始まり 度量衡施行規則（明治 24 年 8 月 19 日）
明治 8 年 (1875)	8 月 5 日 太政官達で 度量衡取締条例 、同検査規 則同種類表を公布。併せて原器および計算表を 府県に頒つ 9 月 検査印章を制作する。 度量衡条例は、度量衡三器の製作は一府 県各機種一名、販売は地域の規模人口密 度に応じて数名までを免許するとある ※国際的にメートル条約締結	5 月 度量衡制作及び売捌請負人 尺度製作請負人 青木大太郎 仙台北町三丁目 売捌人 鈴木真二郎 仙台北町四丁目 浅野利兵衛 石巻村 大柳広治 古川町 関谷喜六 白石町 斗量製作請負人 米川重治 仙台北分町 売捌人 渡辺善三郎 仙台北分町 阿部善三郎 石巻村 日野林右エ門 古川町 渡辺佐吉 白石町 権衡製作請負人 尾形昌寿 仙台北一番町 売捌人 高橋甚之助 仙台北町 植地与三郎 仙台北町 小林金治 古川町 菊池重郎左エ門 白石町	第 1 条 度量衡検定所は常置、特設の 2 とし、 常置検定所（現在の検定所）においては製作、修復若しくは 営業の目的に使用する度量衡器を検定し（現在の検定）、特 設検定所においては営業の目的に使用する度量衡器を検定。 （現在の定期検査） ・常置検定所は地方庁所在地に 1 ヶ所を置く。 ・特設検定所は定期検査を施行するときは地方長官、便宜そ の場所を指定。 ・地方長官においては地方の状況により該庁所在地外に常置 検定所を設置すべき必要ありと認めるときは農商務大臣の 許可を受くべし（現在の支所） ・特設検定所の場所及び検定の期日は、その検定を施行する 期日より少なくとも 1 ヶ月前に之を告示すべし。 歴代検定所 度量衡検定所 明治 39 年～昭和 30 年 計量検定所 昭和 31 年～現在

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
明治 12 年 (1879)		1 月 天秤別製作を許す (大蔵省指令) 尾形昌寿 8 月 千木秤 35 貫目掛及び表裏兼用 20 貫目掛の二器新製の願を 許す 尾形昌寿 10 月 紫檀及び黒檀衡の鍵秤製作許可 尾形昌寿 12 月 鉄製 20 貫目及び秤製作の許可 尾形昌寿	
明治 14 年 (1881)	4 月 農商務省が設置され、度量衡事務は同省の 所管となる 6 月 農商務省権度課設置される		
明治 18 年 (1885)	7 月 メートル条約加盟 を決定		
明治 22 年 (1889)	3 月 薬品営業取締規則においてメートル法採 用を決定 10 月 国際度量衡局においてメートル原器とキ ログラム原器を受け取る。翌 23 年 4 月 日本に到着する		
明治 24 年 (1891)	3 月 23 日 度量衡法公布 (法律 3 号) 施行に関する勅令公布、施行規則公布、 明治 26 年 1 月 1 日施行と定めた		明治 26 年までに、各県度量衡検定所設置
明治 25 年 (1892)	5 月 日本薬局方にメートル法採用		12 月 宮城県告示で常置度量衡検定所を県庁構内西北 (養賢堂裏) に 設置する。 建物面積 22.33 坪 木造瓦葺平屋建 (新築)
明治 26 年 (1893)	1 月 1 日 度量衡法を施行	4 月 度量衡製作者・修復者 製作者 度 1 量 1 衡 2 販売者 度 7 量 15 衡 13	検定所職員数 属 1 名 雇 1 名 計 2 名 検 定 数 8,687 件 (内不合格 711) 検定手数料 187 円

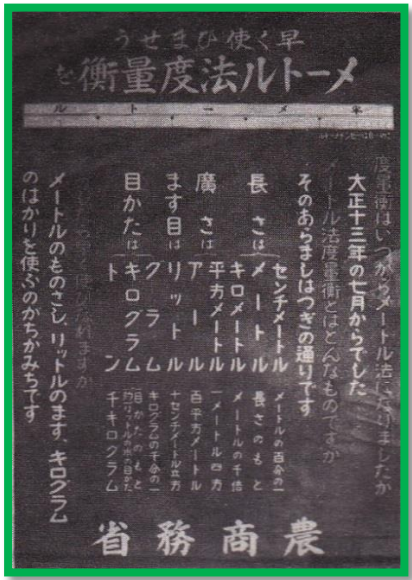
年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
明治 27 年 (1894)	3 月 大日本度量衡会（任意団体）発足 ※庄内地震（10 月 22 日 17:35） M7.0 震度 烈震（当時 4 段階震度階級の最大値）		○ 県令第 30 号で宮城県度量衡器取締規則を制定する。 度量衡取締は県度量衡官吏、市町村長、警察官吏の三者でやることになり、主として市町村と度量衡官吏が定期検査を、臨検による取締は警察官吏が分担することになった。 ○ 郡長は中間にあつて、市町村への達しを取り次いだようである。
明治 30 年 (1897)	3 月 文部省が学童の体格検査にメートル法を採用する	明治 30 年 1 月現在 大日本度量衡会会員（宮城県関係） 宮城県属 鈴木茂雄、今村正人 度 製 奥田新治朗 仙台市大町 量 製 加藤彦七郎 仙台市大町 衡 製 尾形徳重郎 仙台市南町 衡製、量販 尾形恒三郎 仙台市東一 度 販 大柳広吉 古川町大柿	
明治 31 年 (1898)	○ 第一回度量衡器定期検定（現在の定期検査）を明年実施することになり、それが近づくにつれ衡器の値上がりが目立つようになった		○ 第一回度量衡器定期検定は、大がかりなもので、先ず知事は市町村長へ各業種別に、旧器の所持個数を調査させた。 新器とは、明治 26 年以後の製作品で、旧器はそれ以前のもの。
明治 32 年 (1899)	○ 第一回度量衡器定期検定が行われた。		2 月 第一回度量衡器定期検定を知事告示により県内 40 ケ所に特設検定所設け、官吏・市町村長総出でもれなく検査を実施した。 ○ 計量器の使用猶予期間は、明治 41 年 12 月末とした。
明治 34 年 (1901)	9 月 農商務省が各省にヤードポンド法の調査 ○ 第 3 回度量衡総会開催 ○ 質量と重量の区別、原器の定期検査を決める		5 月 10 日 東北連合度量衡事務協議会設立（1 道府 18 県） ○ 検定数 度 101 個 量 2,450 個 衡 2,576 個 検定手数料 317 円

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
明治 35 年 (1902)			○ 検定所職員数 技手 1 名 属 1 名 雇 2 名 小使 1 名 計 5 名 検定数 7,523 個 検定手数料 399 円
明治 36 年 (1903)	3 月 大日本度量衡会消滅 ○ 度量衡講習開始（第 1 期生 52 名） 12 月 23 日 中央度量衡器検定所創立 (現計量研究所)		12 月 25 日 県令第 54 号で度量衡取締規則を改正する。
明治 37 年 (1904)	1 月 中央度量衡器検定所業務開始 初代所長橘川司亮（宮城県出身） ○ ガスメートルを十文字大元（金門紹介の創 始者 宮城県涌谷町出身）が東京瓦斯（株） の高松豊吉社長等の指導を受け初めて国産 化した		1 月 1 日 宮城県度量衡検定所に改名
明治 39 年 (1906)	○ 水量メートルを十文字大元が初めて国産化 した		12 月 遊佐広太 度量衡器販売免許下附（農商務大臣 6322 号）
明治 42 年 (1909)	3 月 度量衡法改正、ヤードポンド法を公認する こととした（英米式折衷） 3 月 化学体積計の検定を開始		8 月 福原長松 度量衡器販売免許下附 ○ 度量衡器の販売等免許は知事権限となる。 ○ 度量衡器取締官吏章を職員に公布する制度ができた。それ以前は度 量衡臨検官吏の証を携帯させていた。（取締上の身分証明書）
明治 44 年 (1911)	4 月 (社) 日本度量衡協会創立 (経緯) 東北連合会度量衡事務協議会（1 道 1 府 18 県）の提案に基づき、明治 44 年 4 月開催の全国度量衡協議大会において（社）日本度量衡協会設立可決。即日創立大会を開き出席者全員発起 人会を構成同協会の定款を議決。7 月 同協会設立を農商務省に申請（7 月 1 日付）同月 6 日付農商務省指令工第 2109 号を以て許可。8 月 創立者会議において子爵金子堅太郎を総裁に推 薦、理事・監事を選挙。 総裁 子爵金子堅太郎（昭和 17 年まで） 事務理事 2 名、理事 5 名、監事 3 名、評議員 11 名、会員 1,167 名（内宮城県通常会員 12 名）		

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み																																																		
明治 45 年 (大正元年) (1912)	6 月 日本度量衡協会事務所移転 東京市麹町区有楽町一丁目 4 番地 書記長 斉藤祐記		7 月 宮城県における免許者数 度量衡器製作者 1 名 量 器 製 作 者 1 名 衡 器 製 作 者 1 名 販 売 事 業 者 仙台 25 名 郡部 50 名																																																		
大正 2 年 (1913)	6 月 (社) 日本度量衡協会会長 理学博士 中村精男 就任 12 月 中央度量衡器検定所を中央度量衡検定所 に改名																																																				
大正 3 年 (1914)	※第一次世界大戦勃発 (1914-1918 年)																																																				
大正 5 年 (1916)	7 月 瓦斯メーターの検定を開始する		第一種取締状況																																																		
大正 6 年 (1917)	○ 第 40 回帝国議会にて軍制統一の必要性論議 ○ カラット分銅の製作を認める	9 月 15 日 (社) 日本度量衡協会宮城支部設立 支 部 長 阿部亀彦 (内務部長歴任) 副支部長 伊藤貞次 (勸業課長歴任)	<table><tr><td></td><td></td><td>大正 5 年</td><td>6 年</td><td>7 年</td><td>8 年</td></tr><tr><td colspan="2">市町村数</td><td>204</td><td>204</td><td>204</td><td>204</td></tr><tr><td colspan="2">現住戸数</td><td>149, 003</td><td>149, 033</td><td>149, 890</td><td>152, 658</td></tr><tr><td colspan="2">受験総戸数</td><td>19, 413</td><td>23, 714</td><td>25, 571</td><td>26, 252</td></tr><tr><td rowspan="5">検 定 数</td><td>度 器</td><td>306</td><td>5, 248</td><td>8, 054</td><td>8, 583</td></tr><tr><td>量 器</td><td>60, 106</td><td>64, 594</td><td>65, 393</td><td>64, 338</td></tr><tr><td>衡 器</td><td>29, 811</td><td>34, 506</td><td>36, 540</td><td>40, 075</td></tr><tr><td>計</td><td>90, 223</td><td>104, 348</td><td>109, 987</td><td>112, 996</td></tr><tr><td>(不合格率)</td><td>3. 3%</td><td>4. 1%</td><td>3. 8%</td><td>3. 5%</td></tr></table>			大正 5 年	6 年	7 年	8 年	市町村数		204	204	204	204	現住戸数		149, 003	149, 033	149, 890	152, 658	受験総戸数		19, 413	23, 714	25, 571	26, 252	検 定 数	度 器	306	5, 248	8, 054	8, 583	量 器	60, 106	64, 594	65, 393	64, 338	衡 器	29, 811	34, 506	36, 540	40, 075	計	90, 223	104, 348	109, 987	112, 996	(不合格率)	3. 3%	4. 1%	3. 8%	3. 5%
		大正 5 年	6 年	7 年	8 年																																																
市町村数		204	204	204	204																																																
現住戸数		149, 003	149, 033	149, 890	152, 658																																																
受験総戸数		19, 413	23, 714	25, 571	26, 252																																																
検 定 数	度 器	306	5, 248	8, 054	8, 583																																																
	量 器	60, 106	64, 594	65, 393	64, 338																																																
	衡 器	29, 811	34, 506	36, 540	40, 075																																																
	計	90, 223	104, 348	109, 987	112, 996																																																
	(不合格率)	3. 3%	4. 1%	3. 8%	3. 5%																																																
大正 7 年 (1918)	5 月 中央度量衡検定所大阪支所の広島出張所 設置 ○ 海軍が兵器のメートル法移行を開始		○ 鈴木利平、体温計・温度計・血圧計等の販売を始める。																																																		

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
大正 8 年 (1919)	6 月 農商務省に度量衡及び工業品規格統一調査会設置 12 月 第 1 回メートル定期比較開始		12 月 遊佐広太 度量衡器修復第 1 号免許下附 (知事)
大正 9 年 (1920)	○ 商品量目取締の実施 ○ この年あたりからメートル法統一論が盛んになる ○ 海軍省、内務省で一部メートル法実施	(社) 日本度量衡協会宮城支部役員 (参事) 仙台市 山田熊治郎 (医療器販) 小谷新右エ門 (薬局) 若生蔵造 (金物商 衡器製作) 鈴木豊 (衡器製作) 遊佐広太 (量・衡器製作) 鈴木利平 (薬局) 若生栄吉 (金物商) 塚本慶助 (硝子商) (評議員) 菊池寅吉 (酒造業) 白石 早坂源七 (酒造業) 吉岡 目黒安吉 (金物商) 角田 千葉新吾 (金物商) 若柳 森 喜内 (金物・米穀商) 岩沼 千葉和蔵 (金物商) 飯野川 鈴木孫部兵エ (金物商) 気仙沼 佐藤勝三朗 (薬局) 宮 門沢惣蔵 (味噌醤油) 亘理 中井忠蔵 (金物商) 塩竈 布施喜雄 (薬局) 涌谷 川内喜作 (金物商) 佐沼 福原長松 (量・衡器販) 石巻	
大正 10 年 (1921)	1 月 圧力計、浮秤、温度計、生糸織度計、乳脂計の検定開始 4 月 11 日 メートル法案公布 この後、この日が 度量衡記念日 (メートル法公布記念日)になる		3 月 1 日 鈴木利平、計量販売免許下附 (第 18 号 知事) 9 月 東北度量衡合資会社創立 (農商務大臣の量衡器製作免許) 資本金 14 万円 住 所 仙台市北材木町 89 番地 代表社員 遊佐広太 (無限責任) 有限責任社員 若生倉造、鈴木豊、安藤源治郎、笹森利八郎、太田久四朗、 山田熊治郎、塚本慶助、針生権十朗、和泉滝太郎

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み																									
大正 11 年 (1922)	4 月 大阪計量博覧会開催を機に全国度量衡大会を大阪府で開催 (メートル法統一促進を決議)																											
大正 12 年 (1923)	4 月 樺太に度量衡法施行 9 月 関東大震災で中央度量衡検定所被災 11 月 大阪府女教頭委員会で児童にメートル法を普及することを決議 ※ 関東大震災 大正 12 年 9 月 1 日 11 時 58 分 M7.9 震度 6	4 月 度量衡記念日(4 月 11 日)にメートル法換算表しおり、裁縫寸法表作成配布	6 月 日東計器(株)創立 社長 鈴木重雄 (経緯) 県下度量衡器製作修復卸売りの免許者(東北度量衡(株)、若生創造、鈴木豊)の統一を期すべく、県の合同勸説により、それぞれの営業権を買収の上設立した。 資本金 40 万円 住 所 仙台市北材木町 89 番地 昭和 4 年 日東度量(株) 昭和 47 年 日東石田ハカリ(株)と改称																									
大正 13 年 (1924)	6 月 (社)日本度量衡協会事務所移転 東京市麹町区永楽町一丁目 1 番地 (昭和 4 年 丸の内二丁目 2 番地)	11 月 宮城県メートル法展示会 於：古川小学校 主催：古川町 協会支部後援																										
大正 14 年 (1925)	4 月 農商務省を廃止、商工省を設置する ○ 中央度量衡検定所も商工省所管になる ○ 日本度量衡協会、商工省よりメートル法統一運動補助金受ける	11 月 涌谷町でメートル展 主催：涌谷高、涌谷町 協会支部後援	9 月 宮城県米穀取引の計量は重量制に決定 (白米取引を重量制とする)																									
大正 15 年 (昭和元年) (1926)	○ (社)日本度量衡協会にメートル法度量衡促進実行委員会を設置する 4 月 大阪メートル協会設立 10 月 皇室令一部改正して陵墓令、世襲財産関係をメートル法とする	11 月 メートル法実行協力者(社)日本度量衡協会総裁から感謝状が贈られる。 宮城県仙台牛乳営業組合 12 月 26 日 (社) 日本度量衡協会総裁からメートル法度量衡促進実行委員による 13 名委嘱される	6 月 県内度量衡器、計量器販売高調査 <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">総 数</th><th rowspan="2">営業者 1 名 に対する 市町村割合</th><th colspan="2">12 年度 1 人営業高</th><th colspan="2">13 年度 1 人営業高</th></tr><tr><th>器数</th><th>価格円</th><th>器数</th><th>価格</th></tr><tr><td>度量衡器</td><td>152</td><td>1.3 強</td><td>413</td><td>345</td><td>459</td><td>359</td></tr><tr><td>計 量 器</td><td>187</td><td>1.1 弱</td><td>66</td><td>107</td><td>69</td><td>110</td></tr></table>		総 数	営業者 1 名 に対する 市町村割合	12 年度 1 人営業高		13 年度 1 人営業高		器数	価格円	器数	価格	度量衡器	152	1.3 強	413	345	459	359	計 量 器	187	1.1 弱	66	107	69	110
	総 数	営業者 1 名 に対する 市町村割合	12 年度 1 人営業高				13 年度 1 人営業高																					
			器数	価格円	器数	価格																						
度量衡器	152	1.3 強	413	345	459	359																						
計 量 器	187	1.1 弱	66	107	69	110																						

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 2 年 (1927)	7 月 金属製秤の規格を統一する	1 月 度量衡自治制（度量衡専任員を置き且検査用具を備えたもの）を実行した県別調査発表（宮城は一市一町） 2 月 食肉類をグラムで販売することにした（仙台市） 2 月 メートル法度量衡促進実行委員によりメートル法実施状況調査 ○仙台市水道部、電気部、下水道部関係の事務は一切メートル法実施 ○第二師団、軍医部、獣医部もメートル法実施	
昭和 3 年 (1928)	10 月 水道メーターの検定を開始 ○ 国定教科書メートル法書換終わる。 	4 月 （社）日本度量衡協会第 17 回通常総会開催 出席者 478 名 知事・市長・中央度量衡検定所長、金子総裁出席 懇親会場 東北産業博覧会場内 ○ 宮城支部主催全国度量衡大会開催される（松島ホテル） 金子子爵講演「仙台発展の意見」 大会費用 1 万円を募り、堤焼谷風人形を記念品として贈る ○ 優良度量衡器計量器営業者及び従事者表彰が行われた 本県関係者 （営業者）13 名 （従事者）一等功労者 2 名 二等功労者 5 名 三等功労者 13 名	

気仙沼市 鈴木彦吉氏提供

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和4年 (1929)		5月 北海道および東北六県協会支部連合会会議を鳴子町役場で開催 ○ メートル法実行の準備宣伝を次の方法で活発に行う。 ・自動車6台、自転車120台を甲乙二班に分ち、甲班は星子商工山林課長、乙班は香野検定所主任を総帥として、自動車・自転車共に旗とモールで飾りたて、楽隊を先頭に約3時間にわたり大宣伝を行う ・4月9日仙台放送局家講演 ・4月10日「メートル法専用の猶予期間」題して講演放送 ・4月11日「メートル記念日に際して」講演放送 ・石巻町においては記念日をとし、家庭用実行委員会を設立し一般会員を募集し、石巻町のメートル化に専心努力した	4月 宮城米穀商組合の仙台支部・長町支部・原の町支部において、メートル記念日を期し、”Kg”取引を実行した。 7月 高橋栄治、計量器営業免許下附(201号) 昭和23年9月(株)仙台測器社として発足 8月 民野好度量衡器修復営業免許下附 9月 商工省度量衡講習 (場地俊夫氏受講)
昭和5年 (1930)	2月 商工省、各省に物品購入の際にメートル法切換を徹底 4月 鉄道省通常小荷物をメートル化する 8月 中央検定所大阪支所北区北扇町に移転 12月 日本本度量衡協会の建物落成する		

[illegible]



年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和6年 (1931)	○日産自動車の設計メートル建てとなる ○ブロックゲージの国産始まる ○国際度量衡委員に長岡半太郎氏就任	5月 度量衡記念日行事 ①各市町村長、警察署長、各中小学校長に通牒を出し、メートル法実行促進の徹底方を促す ②本吉郡他 15 部会にポスター配布 ③メートル法講演会（愛島村） ④各種団体役員との協議会（仙台市） ⑤石巻町毎戸パンフレット配布 7月7日 宮城県度量衡講習会 於：県庁内養賢堂 主席者 87 名 8月 蔵王峨々温泉で(社)日本度量衡協会宮城支部 第9次総会 出席者 100 名 全員蔵王刈田岳に登る 10月1日 メートル法実行宮城県の先駆者 (業界別組合のリーダー) 仙台市東三番町 酒 類 商 伊藤東之助 仙台市新伝馬町 和洋菓子問屋 及川儀蔵 仙台市国分町 石 炭 商 板垣金造 仙台市勾当台通 肉 屋 三浦弥三郎 仙台市立町通 米 こ く 岩淵嘉平治	9月10日 県庁舎並県会議事堂竣工 総額 1,009,155 円 9月 漁船用重油枅の検査を塩釜港から開始
昭和7年 (1932)	6月 計量士法案国会に上程されるも、解散で成立に至らず	4月11日 三辺知事ラジオ仙台放送で「度量衡記念日に際して」講演 4月 県、協会共催により味噌・醤油・酒造・酒類組合の応援を得て自動車、自転車によるメートル法宣伝を実施 4月 仙台座においてメートル法講演並活動写真会開催 9月 計量士連合会に本県より 20 円援助 11月 メートル法度量衡専用指導委員委嘱 202 市町村 737 名	9月 市町村度量衡取締吏員事務打合せ会開催 於：県会議事堂

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和8年 (1933)	3月 岡部長景子爵、メートル法反対論を主張 商工省は方針不変と声明する 4月 商工省、和服裁縫基準法及び呉服生地 メートルサイズ決定 10月 尺貫法存続連盟結成される。 ○メートル法反対運動盛んになる。 12月27日 メートル法統一実施の第1回延期決 まる ○特定の事業は5年、その他10年延期する 勅令公布 ※昭和三陸地震 昭和8年3月3日 M8.1 震度5	5月 宮城支部第10回総会涌谷町において開催 出席者200名 ◎度量衡記念日実施事項（数字は市町村数） ポスターの掲出したもの 202 メートル換算表を配布したもの 142 宣伝ビラを配布したもの 121 講演会を開催したもの 83 メートル指導標を建設したもの 21 施行令附則第7条に掲げる事業者に対し メートル法実行方警告したもの 15 旗行列を催したもの 12 道路上に白線を描きメートル法の実観念を養成したもの 6 メートル法による標語を募集したもの 4 メートル法による店頭装飾をなさしめたもの 4 商工業者の実行協議会を開催したもの 4 自由計量所を設けて、講習の身長・体重を測定したもの 3 目測懸賞を行いたるもの 3 展覧会を催したるもの 2 道路100m毎に小旗をたて、実観念を養成したもの 2 自動車荷馬車にメートル小旗を付せしめたもの 2 メートル法による「廉価デー」を催させたるもの 2 当日必ず商品はメートル法で販売せしめたるもの 2	○ 香野所長自治取締の強化をはかるため自治取締を行わせた

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和9年 (1934)	1 月 ガソリン量器の検定開始 3 月 衆議院に尺貫法を主とする改正案提出、可決。貴族院で度量衡調査会設置 計測学会設立される。雑誌「計測」発行 10 月 メートル協会解散し、運動は(社)日本度量衡協会が引き継ぐ	3 月 仙北も一斉に小売穀物をメートル法に移行 (宮城県米穀商同業組合仙北各支部) 3 月 石巻市メートル法実施について宣伝を行う (運輸業・医師・菓子商・米穀商) 7 月 昭和8年度協会事業報告発表 ①昭和8年8月よりメートル法反対に対する現行法支持のための 大小諸実業団体、教育界、男女青年団、軍人会、婦人会、商工会、山林会、水産会、農会その他各種組合より提出したメートル法既定方針通り断行陳情書を取り纏め、その筋に送付した。 約2,000 団体、組合 ②度量衡法施行令第7条に掲げる公務所および事務事業者より 提出したメートル法既定方針通り断行せられ支障なしとの回答をまとめ、その筋に送付した。約1,000 通 ③学校長、男女青年団長より提出したメートル法既定方針通り断行方建議書まとめ、その筋に送付した。約800 通 ④現行度量衡支持同盟会の活躍 (1)幹事の名士訪問(貴衆両議員等) (2)メートル法専用資金商工大臣へ寄付 115 円 ⑤昭和8年5月6日 遠田郡涌谷町涌谷高等女学校講堂に於いて 協会支部第10次通常総会を開催。同日同所に於いて度量衡講演会を開催(講師 涌谷高等女学校長 塩路敏郎氏) ⑥同日涌谷町商工会に於いてメートル化した店頭装飾競技会を開催し、二見内務部長、香野度量衡検定所長、武田涌谷町長、本郷涌谷警察署長、一力河北新報社長を始め10数名審査の上 メートル法宣伝上適切優秀な店頭装飾をなしたる3名に支部より各々賞金を贈呈した	3 月 特殊販売者、ガソリン量器の法定に伴う県令、県度量衡取締規則改正 ○県内ガソリン量器検定開始 169 台 6 月 20 日 宮城県度量衡検定所を増築工事のため北一46番地(県庁舎商工課内)に移す(告示第360号) ○自治取締の強化をはかるとともに、計量器の違法取扱者に対しては、厳しく告発して対処した案件が多かった

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和9年 (1934)		⑦仙台市外 15 ヶ所に於いてメートル法活動写真並びにメートル法に関する講演会を開催 ⑧仙台市外 7 ヶ所に於いて度量衡に関する講習講演会を開催 ⑨仙台市外 21 ヶ所に於いてメートル法実行競技会を開催し、メートル法普及及び促進に関し競技を行った。 ⑩遠田郡 5 ヶ所に於いて郡部会総会を開催し、香野常任参事が営業上の注意並びにメートル法に関する講演を行った ⑪昭和8年3月 三陸沿岸の震害災害に際し、支部長代理香野常任参事罹災地協会員見舞いのため慰問する。同時に度量衡器、計量器の需給上に関し調査、販売営業に関し種々労をとる ⑫メートル法宣伝ポスター、ビラ、換算表を印刷し各所に配布 ⑬会員に対し営業上必要な法令その他を印刷し配布 ⑭会員に対し度量衡器、計量器販売高届出用紙および販売帳簿を作成し、帳簿については実費配布	
昭和10年 (1935)	7月 満州国計量法公布 8月 度量衡制度調査委員会設置	1月 建設学会によるメートル法により設計された建物調（大建築物および木造建築物）において仙台市、東北帝国大学、営繕課、工事件数8件が大正として取り上げられる。 5月 仙台市斎藤報恩館において開催の宮城支部第12次通常総会を機とし、度量衡統一講演を行う（橋川氏講演）	6月19日 仙台鉄道局、告示第394号で度量衡器、計量器第一種取締並びに市長の行う第二種取締の執行省略の認可を受ける。 <u>国鉄度量衡自治取締制の実施</u> 主任計量士を営業部貨物課に配属 初代 志賀 貢 2代 場地俊夫 昭和19年3月1日就任 3代 白石孝男 昭和40年2月1日就任 4代 若井俊夫 昭和52年3月1日就任 9月26日 メートル法による法令調べ 全部メートル法を用いる件数 79件 一部メートル法を用いる件数 111件 全部尺貫系（ヤードポンド系）を用いる件数 110件

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和11年 (1936)	1月 タキシーメーターを度器に指定する 1月 中央度量衡検定所名古屋支所開設 6月 度量衡制度調査会が特別委員会を設ける	9月16日 齋藤報恩館において北海道・東北六県度量衡大会開催 附議事項として宮城県から4議案提出 午後松島パークホテルにおいて度量衡主任官座談会を開催 9月17日 齋藤報恩館において北海道・東北六県度量衡器製作者協議会、自治取締協議会、ガソリン量器使用者、ガス水道事業者協議会を開催 (本県提案議題) 検定手数料後納の件、穀用ます撤廃、北海道・東北六県自治取締員連絡会設立について、度量衡管理員資格権限を法令に規定すること、水量メートルの検定を地方長官に委任、水量メートル取付場所において簡易修理をなしえるよう法令改正方要望。 9月18日 北海道・東北六県協会支部連合協議会、齋藤報恩館で開催 日本度器販売会社については、速やかに事業開始されるよう、本部は極力斡旋をなすよう要望 または、度量衡器、計量器商業組合の設立につき調査会結成の件は各県より1名ないし4名の委員を出し、宮城支部が一切の事務を担当することとした 9月 (社)日本度量衡協会宮城支部役員 支部長 堀口 功 副支部長 野村道夫 参 事 鈴木利平他7名	11月11日 東北メートル工業所を(株)青葉製作所として事業を引継ぐ

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 11 年 (1936)		9 月 19 日 度量衡統一座談会（於：齋藤報恩館） 度量衡制度調査会進捗の途上、商工省より臨席官として小金監督課長、高さか事務官、堤技師、佐野与事務官、協会より橘川理事出席し、意見交換を行う。 主な席者は、仙台鉄道局長、逓信局長、地方専売局長、第二師団経理部長、東北帝大総長、仙台税務監督局長、宮城控訴院長、仙台中央放送局理事長、河北新報社長、仙台市長、商工会議所会頭、宮城師範学校長、宮城県農業会長、実業諸団体、各中小学校長等 50 名 4 日間にわたる会議に参加したのは 400 名	
昭和 12 年 (1937)	日本計量協会会員数 14,941 名	○度旅行記念日行事 会員を通じ県下 2 市 201 町村へポスター掲示宣伝を行う 量衡器製作者合同の下に祝賀会を兼ね栃木県鬼怒川温泉において従業者慰安会を開催 8 月 石巻小学校においてメートル法普及計量展示会開催	
昭和 13 年 (1938)	1 月 度量衡制度調査会メートル法尺貫法併用を可とする答申 5 月 度量衡法規改正調査委員会を設置 12 月 政府の詰問に対する答申を果たし、度量衡制度調査会解散	4 月 度量衡記念日行事宮城支部では、記念日宣伝ポスターを各支部に送付、県内各所に掲示 6 月 16 日 宮城県支部総会 出席者 100 名 金子総裁より功労者（全国 774 名）表彰状の伝達があり、本県 20 名には当日交付 8 月 15～17 日 不合格を少なくする会 宮城支部においては、石巻市における第一種取締施行に先立ち定期検査の前夜希望者に対し講習会を開催	9 月 宮永一郎度量衡検査員として蚕糸（株）、宮城鉄道（株）、塩釜魚市場等の自治取締に当たる また、昭和 14 年 5 月 仙北鉄道（株） 昭和 15 年 5 月 片倉米肥（株） 昭和 17 年 4 月 白石興産（株）を担当した

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 13 年 (1938)		「度量衡要項」「度量衡器および計量器の使い方と入手法」のパンフレットを配布し、2 時間半にわたり講習と実習を行う 器物使用者の 9 割、270 名出席 (ハカリの手入れを事前指導のため不合格が少なかった) 11 月 4 日 北海道および東北六県販売部会委員会開催 各県係官、各県販売部会委員、製作者、修復者等 30 名出席 本部より徳永書記長、長尾連合会主事出席 時局課の販売対策、器物の円滑な配給方法につき協議の上、販売価格協定委員会の設置を決議 ○県商工奨励館の商工展示会に度量衡に関する展示コーナーを設けた	
昭和 14 年 (1939)	1 月 17 日 第 2 回メートル法専用実施の延期の勅令 (第 18 号) 公布 特別なもの土地建物には期限を設けず、その他は昭和 33 年 12 月 31 日までとする 1 月 米穀配給統制法成立 (単位はキログラム建てとする) ※第二次世界大戦 (1939 から 1945) 1941 年 12 月 8 日 日本宣戦布告	4 月 製作者職工の協力を得て技術研究会を開催 既に 3 回実施しているが、併せて一般使用者に対して講習会も各郡部で巡回開催 米屋、炭屋、菓子屋より感謝された 5 月 6 日 宮城県商業組合創立総会開催 定款、役員、事業計画等当局へ認可申請を提出 『宮城県度量衡器計量器商業組合』と称す 代表者 遊佐広太	○西村所長、大阪市権度課から田中吉蔵を呼び寄せ、仙台三越、藤崎、米穀店、仙台ガス会社、東北金属 (株) 等の自治取締に当たらせた

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和15年 (1940)	12月 度量衡法一部改正 資材の範囲を拡大、代用材料を認める		○田中吉蔵、東北金属（株）専任に伴い、成田年実が仙台三越、藤崎、米穀店、仙台ガス会社等の自治取締に当る
昭和16年 (1941)	11月 度量衡器、計量器統制協議会設置される。 ※大東亜戦争 昭和16年12月8日 宣戦布告(1941) 昭和20年 8月15日 終戦(1945)	9月 樺太、北海道および東北六県度量衡関係協議会開催 於：仙台市蚕糸会館 ①度量衡主任官協議会 商工省 佐藤技師臨席 宮城県 有松経済部長他各県主任官出席 ②協会支部連合協議会 上記出席者の他に、説田商工課長、本部岡本会長、松縄 常務理事 (議題) 度量衡器、計量器の代用資材に関する件 公定価格の建値に使用の度量衡統一の件 器物配給の円滑化に関する件 ③北海道および東北地方度量衡器計量器商業組合連合協議 会および製作者協議会開催 (本県提案議題) 改正規定に基づく木製棹秤および定量錘の件 度量衡器の取締に関する件 賞品の量目表記に関する件	
昭和17年 (1942)	2月 衡器修復料金（統一料金）認可される	4月5日 各市町村長、警察署長に対し度量衡記念日をとし、メー トル法実行促進に関し、一層の徹底を期するよう経済 部長、警察署長連名で通牒を発す	3月25日 仙台通信局第一種取締省略および認可 市町村長が行う第二種取締の省略認可 4月 白石興産(株)度量衡自治取締を開始（宮永一郎 計量士）

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和17年 (1942)		4月5日～11日 正量取引強調月間 ・正量取引の強調を図るため各商工業組合理事長、主要会社工場長あて経済部長名をもって通牒を発す ・県下主要商店に懸垂幕、ウィンドウ装飾をし、メートル法専用および正量取引を強調した ・ラジオ講演「雄飛日本とメートル法」有松昇 経済部長 ・仙台市主要箇所計量関所を設け一般消費者の計量観念普及につとめた ・ポスターを県下国鉄主要駅、個通機関その他主要箇所に掲出 ・市内および郡部腫瘍常設館でスライド上映	
昭和18年 (1943)	11月 商工省廃止され軍需省と農商省が設置。度量衡事務は、農商省に属す	11月5日 宮城県度量衡器計量器統制組合設立 代 表 者 遊佐広太 組合員数 256名 出 資 金 7,760円 住 所 宮城県商工課度量衡検定所内	11月 宮城県食糧営団において度量衡自治取締を開始 昭和23年2月 食糧配給公団宮城県支局 昭和26年6月 宮城県食糧事業協同組合連合会と名称を変更し、計量器使用事業場の指定を受ける 初代計量士 志賀 貢 二代 大槻一郎 三代 千葉一英 四代 白石孝男・杉目邦男（宮城県計量協会）
昭和19年 (1944)	4月 (社)日本度量衡協会が農商務省大政翼賛会後援でメートル法運動を展開する (戦前戦中最後の運動) 9月 日本原器を茨城県柿岡町に疎開する (昭和21年異常なく復帰) 9月 全国会員(協会)募金により艦載爆撃機献納する。「度量衡号」と命名		

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 19 年 (1944)	12 月 (社) 日本度量衡協会の機関誌「計量界」 を休刊 ○ 商工省度量衡講習を本年より廃止		
昭和 20 年 (1945)	2 月 メートル、キログラム副原器一組を海軍 へ資材提出す(昭和 21 年部軍に接収さ れ、9 月に返還される) 3 月 中央度量衡検定所戦災を受け、図書資料 等焼失 8 月 15 日 戦争終結 ○ 尺貫法の復活、ヤードポンド法流入が目立	○ 宮城県度量衡器計量器統制組合は、仙台市南小泉八軒小路 92 雁部養助宅のかり事務所で執務	7 月 戦災により宮城県度量衡検定所焼失。本庁商工課で執務
昭和 21 年 (1946)	4 月 メートル、キログラム副原器一組をアメ リカ軍野命により慣行区へ委譲する 5 月 日本度量衡器計量器工業会連合会設立 10 月 (社) 日本度量衡協会長 工学博士 松縄信太就任 会員数 11, 322 名	○ 全上組合大町五丁目 22 番地に移転	6 月 東北金属(株)衡器製造免許下附 (昭和 25 年 4 月 18 日 東金商工(株)を設立し、事業引継)
昭和 22 年 (1947)	8 月 商工省度量衡法規改正調査委員会設置 11 月 日本度量衡協会でも法規制委員会設ける		5 月 仙台通信局機構改革により用品更正所を設置し、局内度量衡器の 管理事務を扱う 初代所長 三浦一郎 <u>通信(郵政)局度量衡自治取締制の実施</u> 昭和 12 年 3 月 12 日 宮城県より三浦一郎通信局へ出向。度量衡 自治取締の土台を築き、昭和 17 年 3 月 25 日仙台郵政局度量衡取 締省略の認可を受ける。 昭和 22 年 5 月機構改革により、用品更正所を設置し、後に用 品工作所機器保守係と改名

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 23 年 (1948)	8 月 工業技術院設置され、中央度量衡検定所に所属する。 9 月 商工省度量衡講習復活	6 月 6 日 東北地区商業組合協議会を仙台市において開催 12 月 2 日 宮城県度量衡器計量器商業協同組合 設立 理 事 長 遊佐広太 専務理事 雁部養助 常務理事 菅野菊松 理 事 菊池喜兵衛 佐々木喜代治 近江林兵衛 監 事 鈴木利平 千葉新吾 顧 問 吉村忠蔵 小野志朗 組合員数 103 名 出資金 103 千円 住 所 仙台市鉄砲町 145	
昭和 24 年 (1949)	8 月 計量器の統制価格撤廃される 6 月 横山不学(東京美術館などの構造設計士)中央度量衡検定所長に就任	4 月～7 月 グランドフィアー(博覧会)で 12 社提供により計量館を設置(於:西公園)	9 月 仙台市機構改革により経済部商工課権度係を設置 初代所長 玉虫一十朗(昭和 24 年 9 月 17 日就任) 昭和 27 年 9 月 6 日計量法に基づく 特定市 として指定を受ける 9 月 商工省度量衡講習受講(杉目邦男、高橋清)
昭和 25 年 (1950)	○ 国際度量衡委員会で水 1 Kg の体積を 1.000028 立方 d m と決定	10 月 つつじヶ園河北遊園地(子供博覧会)で目測懸賞(入省 10 名)と計量器展示会の開催 10 月 10 日 宮城県度量衡器計量器商業協同組合から「 宮城県計量器商業協同組合 」に名称を変更 代表者 遊佐広太 組合員数 200 名 出資金 103 千円 住 所 仙台市鉄砲町 145 ○ 宮城県度量衡検定所復旧協賛会 を設置 復旧費の寄付を仰ぐ 365 名 100 万円 協力者に対しては、上皿棹秤、台秤、体温計等を配慮した	8 月 31 日 宮城県度量衡検定所用地 704.65 m ² を(株)工務所から購入、更に隣接土地(都市計画の保留地)135 m ² を 553,750 円した 9 月 商工省度量衡講習受講(二階堂亮一郎) 10 月 仙台市度量衡検査所 の建物落成 仙台市勾当台通 27(北一番丁西南角) ○ (有)横田温度計製作所、計量器製造開始

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 26 年 (1951)	2 月 日本計量新報 創刊される 5 月 28 日 「 計量法 」 公布（法律第 207 号） メートル法は土地建物を除き、昭和 34 年 1 月 1 日から規定。 計量事業は免許から許可および登録制に変わる 10 月 （社）日本度量衡協会を（社） 日本計量協会 と改称決議 10 月 日本計量協会主催の全国計量大会、福岡市で開催 ・メートル法統一促進 ・「 計量記念日 」を 6 月 7 日設定を決議	3 月 30 日 宮城県度量衡検定所の復旧資金 建築費 213 万円、備品含めて 250 万円（内 100 万円を協会で寄付） 計量法施行直後の登録者数 販売事業者のみ (1 号) 長さ計（ノギス、ノギス以外のはさみ尺、ブロックゲージ及び回転尺を除く）150 名 (2 号) まず（計量角式ガソリン量器を除く） 斗概および化学用体積計84 名 (3 号) 体積計（前号を除く）20 名 (4 号) はかり、力計および織度計53 名 (5 号) 時間計34 名 (6 号) 温度計他 17193 名 (7 号) 面積計他 1376 名 計610 名	3 月 宮城県度量衡検定所復旧 8 月 23 日庁舎移転 仙台市北一番丁 105 番地 土 地 839.65 m ² 建 物 木造二階建て切妻造 スレート葺一部（検定室）軽量鉄骨建 新築分建坪 235.95 平方 延べ坪 443.85 m ² 移築分 260.7 m ² 合計 704.55 m ² 4 月 22 日 仙台市二日町大火災で度量衡器修復者(有)宮城計器社罹災
昭和 27 年 (1952)	3 月 1 日 計量法施行 4 月 中央度量衡検定所を「 中央計量検定所 」と改称 4 月 （社）中央度量衡協会を「（社） 日本計量協会 」と改称 5 月 日本度量衡器計量器工業会連合会が日本計量器工業連合会と改称 6 月 第一回計量記念日 6 月 計量行政審議会発足 8 月 通産省に計量課設置	9 月 17 日 （社）日本度量衡協会宮城支部を発展的に解消し、「 宮城県計量協会 」を発足（任意団体） 会 長 大内源吾（気仙沼） 副会長 遊佐広太 〃 鈴木利平 8 月 29 日 「 東北六県北海道計量協会連合会 」の発足 会長は、総会を主催する道県の協会長がこれに当たる（総会開催順序） 青森・山形・宮城・秋田・岩手・福島・北海道	9 月 6 日 仙台市度量衡検査所を 仙台市計量検査所 と改名 9 月 17 日 血圧計および肺活量計の検定開始 ○ 計量士資格認定者 (27. 6. 25) (27. 10. 15) 桜井久雄 及川信一 場地俊夫 小野志朗 志賀 貢 小林 昇 富永一郎 平間繁男 佐藤平八 大槻一郎 三浦一郎 佐藤年寿朗

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 27 年 (1952)	9 月 (社) 日本計量管理協会創立 10 月 計量教習所開所 12 月 通産大臣の計量関係功労者表彰創設		都沢水哉 9 月 計量教習受講 (半田清)
昭和 28 年 (1953)	3 月 計量教習第 1 回修了式 3 月 第 1 回計量士国家試験行われる 6 月 タキシーメーター工業会創立 7 月 (社) 日本計量協会再建総会 (団体会員制) 7 月 計量士の専門 (器種別) 制度創立 ○ 各県にメートル法統一運動起こる ※「テレビ放送開始」	7 月 2 日 宮城県計量器商業協同組合を解散	3 月 28 日 条例第 10 号で計量証明手数料条例を公布する 9 月 18 日 仙台市内ハイタク料金改訂 ○ 検定所職員数 技師 5 事務吏員 1 技手 1 計 7 名 検定個数 18,543 個 9 月 29 日 計量士資格認定者 (鈴木忠佐、紀太礼亮) 10 月 5 日 規則第 61 号で計量証明規則を定める 10 月 第 1 回全国特定市主任者会議
昭和 29 年 (1954)	6 月 第一回計量管理優良事業場の通産大臣表彰を行う ○ JIS の呼び数値をメートル法にする	6 月 会 長 遊佐広太 就任 副会長 鈴木利平 8 月 東北六県北海道計量協会連合会第三次通常総会開催 於：松島町	3 月 後藤賢ガソリン量器の製造開始 (後に古川商会と改称) 計量教習所入所受講 (白石孝男)
昭和 30 年 (1955)	6 月 検定手数料等の地方委譲実現 8 月 23 日 メートル法実行既成良委員会結成 委員長 長松縄信太 12 月 メートル法統一運動指針完成 12 月 次官会議でメートル法統一促進を決定	6 月 遊佐広太、計量功労者として通産大臣より表彰される	4 月 (株) タツノ仙台下張所を開設 NE S 創立 (昭和 37 年 5 月 15 日創立) 7 月 規則第 27 号で計量法に基づく手数料の納入方法に関する規則を定める 10 月 条例第 47 号で計量証明手数料条例 (出張証明) の一部改正
昭和 31 年 (1956)	4 月 計量教習所に専任所長を置く 初代所長 岡田嘉信 5 月 「メートル法の道」刊行 7 月 通産省、婦人団体と懇談を皮切りに各方面とのメートル法実施折衝。委員会は「計量単位換算表」作成。	8 月 5 日 宮城県メートル法実行期成委員会設立 委 員 長 宮城音五郎知事 副委員長 岡崎仙台市長 内ヶ崎商工会議所会頭 遊佐県協会長 栗野県協組中央会長 常任委員 仙台通産局長 板野仙台農政局長 遠藤仙台鉄道管理局次長	4 月 愛知時計電機 (株) 仙台事務所開設。 昭和 44 年 4 月仙台工場、昭和 48 年 4 月仙台支店に昇格 4 月 トキコ油器 (株) 仙台下張所を開設 昭和 41 年 11 月 1 日 トキコメンテナンス分離 4 月 メートル法統一の推進に関し水産商工部長、総務部長連名で庁内各課、公所長および市町村長に対し通牒を発す

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 31 年 (1956)	○ 各県の地方実行期成委員会設立される。	安久津仙台市産業部長 小岩賢水産商工部長 日野東北大学科学計測研究所長 高山県教育庁 湯村食糧協組連会長 阿部県漁業組合連合会長 菅野河北新報社長 ○ 瑠璃製の「宮城県登録計量器販売所」の看板を作成斡旋する	10 月 『宮城県計量検定所』と改名（従来の主任官は所長となる） 10 月 規則第 54 号で計量検定所規則を定め、管理・業務の二係を置く 訓令甲第 14 号で計量検定所規則を定める 10 月 計量教習所入所（桜井照雄） 12 月 規則第 75 号で計量証明規則の一部改正
昭和 32 年 (1957)	1 月 検定証印甲証印に統一 3 月 大阪そごうデパートいち早く食料品をグラム単位に切替える。これにより各地デパートのメートル法への移行広がる 4 月 農林省、木材規格・統計・市場物資のメートル法移行の検討を開始 鉄道弘済会メートル法採用 6 月 通産省、全国知事会議でメートル法実施の決議を披れきし協力を要請する 9 月 通産、自治事務次官連名でメートル法促進通達が知事あてに出る 通産省全国遊説を開始する。 12 月 中央度量衡検定所板橋に移転する	1 月 「宮城県証紙売捌人」の指定を受ける 3 月 計量単位換算表を庁内各課、地方公所および市町村長に送付 4 月 計量単位統一ポスター、パンフレット「メートル法」計量単位換算表の配布 6 月 協会第 5 次通常総会開催（於：牡鹿町金華山ホテル） 6 月 計量週間行事 横断膜・立看板・チラシ配布・映画館でメートル法宣伝スライド上映・計量移動展の開催（絵画を中心とした立看板 17 枚 1 組） 10 月 各種小売団体にメートル法についての打合せ会の開催 11 月 各種卸業者および県産品生産・移出団体とメートル法についての打合せ会開催 12 月 一般国民に対しメートル法実施 1 年前の宣伝を行う 12 月 宮城メートル法実行期成委員会「メートル法実行推進状況」を調査	2 月 東北中央商事タキシーメーター修理事業登録 4 月 計量教習所入所（大飼信）
昭和 33 年 (1958)	1 月 各方面の商品のメートル法移行盛んになる 3 月 8 日 計量単位整備法国会を通過 8 月 報道機関統一を開始する	2 月 19 日～28 日 メートル法普及旬間行事 県内主要地にポスター 2, 000 枚掲示。ビラの配布 1000, 000 枚。6 市横断膜の掲示。ラジオスポット放送ままの日記・20 秒間（21, 24, 28 日）。業種別メートル法実行実態調査の実施。	2 月 10 日 メートル法推進に関し、計量検定所において 6 市担当課長会議（仙台市除く） 7 月 条例第 15 号で行政機関設置条例の公布で計量検定所は地方公所となり、行政組織規則第 61 号で管理、業務第一係、第二係の三係置く

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 33 年 (1958)	8 月 実行委員会各種パンフレット刊行 11 月 ネジの呼称をメートル法とする 11 月 中央度量衡検定所移転完了式典	メートル法に関する作文、ポスター、標語の募集。広報車巡回宣伝（経費 20 万円） 2 月 25 日 業種別団体の長とメートル法に関する打合せ。50 名 3 月 5 日 協会石巻支部総会（於：日和山つつじ園） 3 月 15 日 宮城県メートル法実行期成委員会気仙沼支部発足 委員 60 名 3 月 「計量管理とメートル法促進」についての講演会開催 於：仙台市東一番丁ブラザー軒 4 月 気仙沼米穀商業組合をはじめ 10 団体からの要請でメートル法についての講演を行う 4 月 18 日 メートル法実行期成委員会気仙沼支部役員会開催 於：気仙沼商工会議所 4 月 19 日 協会任意団体を法人化『(社)宮城県計量協会』に改称 会 長 遊佐広太 副会長 鈴木利平 安達新平 事務局長 小野志郎 (協会事務局長は歴代計量検定所長就任) 理 事 19 名 監 事 3 名 会 員 354 名 資産総額 133 千円 4 月 21 日 「メートル法実施の基因と生活の関係」と題し講演 於：大崎食糧事業協組事務所 5 月～7 月 県内市町村で「メートル法説明会」開催 61 市町村 出席者 3, 554 名	7 月 金門製作所仙台出張所を開設（昭和 42 年 3 月に仙台支店に昇格） 8 月 メートル法モデル店の指定（各市町村長および団体長推薦） 県内 2,000 店 12 月 規則第 75 号で計量証明規則（様式第 4 号）の一部改正 12 月 液用 1 升、液用 1 合、穀用 1 斗ますの全量をメートル法に切り替えるため検定開始 検定手数料 液用 1 升 9 円 液用 1 合 10 個またはその端数ににつき 4 円 穀用 1 斗 6 円 70 銭 12 月 26 日 計量単位統一に関する件関係規則、訓令、告示等の整備完了

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 33 年 (1958)		5 月 東北六県・北海道メートル法推進協議会開催 於：仙台市 5 月 21 日 奥州白石温麺協組要請に基づき「メートル法」についての説明回実施 6 月 4 日 メートル法に関する作文、ポスターの応募作品の入賞者発表。8 名に対し知事より賞状を授与 7 月 28 日 宮城メートル法実行期成委員会栗原支部設立 委員 70 名 10 月 メートル法実行強調月間 三越ウィンドーを借用、目測懸賞実施 計量移動展、絵画看板 17 枚 1 組 10 月 27 日入賞者発表 特賞 10 名・入賞 150 名 10 月 10 日 計量単位統一に伴う県条例の整備完了 10 月 9 市町村に対し「メートル法実施のお願い」ポス太掲出方 依頼 (1, 820 枚) 10 月 県内各市町村を通じ売り方 1, 920 枚 グラム換算表 (100g・200g・400g 用) 各 2, 700 枚幹旋	
昭和 34 年 (1959)	1 月 1 日 全国一斉にメートル法実施 5 月 日本計量士会連合会設立 6 月 メートル法完全実施記念切手発行 6 月 メートル法功労者に黄綬褒章、通産大臣 感謝状 6 月 東北・北海道計量協会連合総会で全国業 界団体の大同団結推進を決議する	1 月 22 日 (社)宮城県計量協会 計量器工業部会発足 会 長 (株)青葉製作所 副会長 日東度量衡(株) 参 事 後藤賢、(株)仙台測器社、棟金商工 東北自動車メーター(株)、矢崎総業 飯田清三郎	

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み												
昭和 34 年 (1959)	7 月 全国計量大会開催（於：徳島市） 10 月 中央検定所福岡支所開所 50 周年祝典	監 事 (有)横田温度計、 (有)松浦商会（昭和 40 年から東北寺岡） (会員 25 名) 5 月 メートル法実施状況調査 <table border="1"> <tr> <td></td><td>小 売</td><td>問 屋</td><td>製 造 業</td></tr> <tr> <td>調査実数</td><td>11,664</td><td>262</td><td>2,314</td></tr> <tr> <td>調 査 率</td><td>74.2%</td><td>90.3%</td><td>81.0%</td></tr> </table> 6 月 ポスター2,000 枚、メートル法ポケット知識 1,000 冊 送付 6 月 5 日 遊佐広太、日比谷公会堂において黄綬褒章を受ける 6 月 5 日 メートル法優良実行者に、知事より感謝状授与、さらに通産大臣より感謝状伝達 ・通産大臣感謝状授与者（7 名） 築館町長、本吉町長、東和町長、中田町長、 (株)塩釜魚市場社長、(株)河北新報社長、 奥州白石温麺協同組合理事長 ・知事感謝状授与者（15 名） 石巻市長、塩釜市長、古川市長、気仙沼市長、 白石市長、宮城県食糧事業協同組合連合会、 仙台中央放送局、東北放送（株）、(株)三越仙台支店、 (株)藤崎、(株)丸光、(財)辛酉会、松倉昭、 宮城県商工会議所連合会、宮城中小企業団体中央会		小 売	問 屋	製 造 業	調査実数	11,664	262	2,314	調 査 率	74.2%	90.3%	81.0%	5 月 切りのよい数値によるメートル法建値取引の強調について、各市 町村長あて、県より通達 8 月 1 日 国鉄共済組合仙台支部、計量器使用事業場の指定を受ける 8 月 24 日 (株)旭商会仙台支店、計量器修理販売事業登録 10 月 計量教習所入所（菅原功）
	小 売	問 屋	製 造 業												
調査実数	11,664	262	2,314												
調 査 率	74.2%	90.3%	81.0%												

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 35 年 (1960)	4 月 計量管理事業場の指定権(一部)を知事に委譲 5 月 通産省、メートル法白書発表 5 月 不動産登記法改正(メートル化) 7 月 木材のメートル規格決まる 7 月 全国計量器販売者連合会設立 8 月 日本分析機器工業会創立 9 月 日本計量協会、計工連大同団結協議会 11 月 日本流量計工業会創立 ※チリ地震津波 昭和 35 年 5 月 23 日午後 4 時 M9.5 (観測史上最大)	5 月 チリ地震津波三陸を襲う。被災者に見舞い金贈る 6 月 三菱金属鉱業(株)細倉鉱業所、優良管理事業場として通産大臣の表彰を受ける 6 月 計量器製造、修理事者に対し品質向上と技術員の研修を兼ねた講習会を開催 6 月 計量週間行事 ①永年勤続優良従業員の表彰 ②併用目盛計量器をメートル系単位に改修するものに修理料金割引サービスを実施	10 月 朝日電装(株)ガソリン量器製造修理事業登録 (後に朝日テック(株)仙台営業所と社名変更) 10 月 計量教習所入所(梅森宗雄)
昭和 36 年 (1961)	1 月 木材関係メートル法になる はかりの非メートル法単位の日盛抹消開始 4 月 「度量衡の歴史」刊行中央計量検定所編 4 月 計量法一部改正 メートルの定義を光波長に改め、温度はケルビン度とし、カンデラを基本単位に入れる 6 月 計量法制定 10 周年 日計協創立 50 周年記念合同表彰式挙行 7 月 中央計量検定所、計量研究所と改称 7 月 日本計量証明事業協会連合会設立 9 月 計測自動制御学会発足	8 月 東北六県・北海道計量協会連合会 第 10 次総会開催 於：松島町 出席者 200 名 大会決算総額 767 千円(内協会基本金取崩 43 千円)	1 月～12 月 はかりの貫目盛抹消を定期検査に併せ実施

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 36 年 (1961)	10 月 第 12 回国際度量衡総会開かれ、日本のメ ートル原器の引直し完了、持ち帰る 12 月 貫系目盛付きはかりの使用禁止		
昭和 37 年 (1962)	5 月 全国都道府県計量取締連絡会議設置 10 月 若戸大橋竣工記念に、全国若戸計量大会 開催される。 於：戸畑市	○ 協会事業として、計量器利用による計量思想普及のための 「貸ばかり制度」を設置	6 月 日産セドリックバン（1900cc）取締用として配備
昭和 38 年 (1963)	2 月 （社）日本計量協会総会を開き、新連合 体改組のための定款改正を行う 9 月 計量研究所所長 朝永良夫就任	6 月 中元・歳末期を中心に 7 市 25 町において一般商品詰込業者 に計量方法と包装方法について指導 7 月 副会長 奈良 司就任	7 月 通産省提唱で全国量目一斉取締を実施 9 月 タキシーメーター走行検査室完成（33 m ² ） 12 月 23 日 仙台市計量検査所、本調査建設のため錦町仮庁舎に移転
昭和 39 年 (1964)	5 月 専務理事 山口恒清就任 （前東京都計量検定所所長） 6 月 土地建物のメートル化について各省との 協議始まる 8 月 通産省で計量モニター制始める 日計協移転（江戸橋 1-13 神戸銀行ビル） 12 月 日計協会館建設（新宿区納戸町 25 の 1）	5 月 計量モニター実施（8 市 40 名） 7 月 6 日 計量モニター報告会（於：仙台市日の出会館 60 名） 11 月 鈴木利平 黄綬褒章を受ける	3 月 条例第 29 号で計量証明手数料例の一部改正（手数料の納入方法） 4 月 県財務規則第 3 条により地方公所の指定を受ける 検定所職員数 13 名 内有資格者 7 名 9 月 18 日 仙台市内ハイタク料金改訂 9 月 タキシーメーター走行検定ホール購入（片輪式 1 台）
昭和 40 年 (1965)	10 月 土地建物のメートル法移行について各省 間の協議が続き最後の努力が尽くされる 10 月 計量研究所 60 周年式典 1 月 日本電気計器検定所発足	○ 新計量会館建設資金として 33 万拠出（会員の年会費を倍額 として臨時徴収分）	6 月 小野志郎、計量功労者として通産大臣から表彰受ける 10 月 計量教習所入所（東野政弘） 2 月 （株）東北寺岡、質量計修理・販売事業登録
昭和 41 年 (1966)	3 月 日本計量会館落成 新宿区納戸町 25 の 1 3 月 土地建物関係単位整備法成立する 4 月 土地建物のメートル法実施に入る	4 月 鈴木利平 勳四等旭日小綬章に叙せられる 8 月 試買検査会の実施（白石市・石巻市・古川市） 10 月～11 月 計量モニター制度実施 11 月 遊佐広太 勳四等瑞宝章に叙せられる	

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 41 年 (1966)	5 月 日計協 南部鎮雄 会長就任 (松縄会長引退) 6 月 メートル法統一功労者に通産大臣より感謝状が出る ○ 「度量衡歴史展」が開催 7 月 1 日 計量法改正案が国会を通過し公布される。 電気測定法の統合、国際単位採用、その他大改正された。 法定計量器強制検定の範囲縮小、販売登録は、はかり・体温計・血圧計のみ残る。 10 月 LPG メーター検定開始	11 月 協会会長に鈴木利平就任 (遊佐広太 会長辞任) 副会長 奈良 司、千葉新吾 (11 月就任) 事務局長 小野志郎	3 月 横山自動車部品(株)タキシーメーター修理事業登録 10 月 土地建物のメートル法施行状況調査を実施 11 月 トキコメンテナンス(株)発足
昭和 42 年 (1967)	5 月 朝永計量研究所長国際度量衡委員に就任 6 月 30 日 改正計量法施行 6 月 日本メートル法沿革史完成 (メートル法期成委員会編) 9 月 メートル法実行期成委員会解散し、事業を(社)日本計量協会に引き継ぐ 12 月 日計協、優良計量器推奨制度実施	10 月～3 月 パブリックスケール仙台市内 12 ヶ所に設置 10 月 刈田岳頂上のメートル指導標に至る距離の再測定 2 回実施し、メートル指導標の補修を行う	6 月 計量問題、県政モニター121 人にアンケート調査実施 9 月 パブリックスケール事業連絡協議会委員の委嘱 24 名
昭和 43 年 (1968)	6 月 計量単位「もんめ」 7 月 鈴木利平、(社)日本計量協会副会長に就任 7 月 計量士国家試験の器種別廃止 12 月 (社)日本計量士会設立 (従来の連合会は廃止)	9 月 東北六県・北海道計量協会連合会 第 17 次総会開催 於：鳴子町 200 名 大会決算総額 1, 099 千円 (内基本金取崩 150 千円) 10 月～4 月 石巻市、古川市にパブリックスケールを設置	5 月 パブリックスケール事業報告会 (仙台市商工会議所) 10 月 計量教習所入所 (岩井俊夫)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 44 年 (1969)	3 月 (社)日本計量士会発足 4 月 計量教習所、東村山市のの恣意庁舎に移る 4 月 コンベアースケール等自動はかり、検定対象外 10 月 計工連ブラジル事務所開設	4 月 宮城県計量器鋳業部会役員改選 会 長 日東度量衡(株) 副会長 小林 昇 9 月 産米調整技術講習会 「台はかりの正しい使い方」1市5町で開催 10 月 計量モニター説明会 6市6町 11 月 計量モニタ制度の実施 8市5町 40名委嘱	4 月 計量検定所、仙台市長町七丁目 22 番 23 号に新築決定 本年度は盛土(1m5cm)設計見込まれる 4 月 3 日 東北・北海道地区計量行政協議会合同会議開催(於:作並) 4 月 計量教習所入所(佐久間徳彦、久保昭男) 10 月 計量教習所入所(吉田徹、鈴木勝) 11 月 19 日 仙台市計量検査所、二日町 1 番地 1 号に建設移転 12 月 1 日 仙台市内ハイタク料金改訂 2 月 10 日 東北金門(株)仙台工場、仙台市原町小田原に新築。昭和 45 年 8 月 31 日泉市松森に移転
昭和 45 年 (1970)	6 月 「70 年計量大会」挙行 於:万博開催の大阪 6 月 日計協で会長表彰制度を設け第 1 回表彰を行う 9 月 計量研究所、レーザーによる長さ標準に一兆分の一実現に成功する ※日本万国博覧会 昭和 45 年 3 月 14 日～9 月 13 日) 大阪府吹田市で開催	5 月 70 周年計量大会、本県より 7 名参加 日計協特別功労者として鈴木利平会長、功労者として千葉新吾副会長が表彰される。 7 月 副 会 長 鍋島綾雄 就任 事務局長 小林昇 就任 8 月～11 月 計量教室の開催 登米町、中田町、三本木町、多賀城、迫町、若柳町 参加者 171 人 8 月 登米町において、生活学校対話集会を開催 9 月 産米調整技術名等講習会 5 町で開催 12 月 全国はかり工業会東北支部総会 於:作並	4 月 計量教習所入所(古川隆) 10 月 大型分銅(500Kg)15t 購入 昭和 46 年 5t 分、昭和 48 年 20t 追加購入 電動調整式タキシーメーター検査機 2 台購入 12 月 16 日 宮城県計量検定所 竣工 仙台市長町七丁目 22 番 23 号に移転 敷地面積 2,713.20 m ² 建 物 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建 延 1,109.29 m ² 附属建物 タキシーメーター検定室および車庫 191.65 m ² 工 事 費 80,390,000 円 (付記) 計量検定所の独立庁舎建設は、全国的にみても本県が一番早かった。その後、独立庁舎建設が一つのブーム的勢いで、全国的に広まった 3 月 大型はかり用クレーン車(7.5t)、フォークリフト(荷揚 1t)を購入

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 46 年 (1971)	6 月 計量法公布 20 周年行事展開 11 月 計量法施行令改正による亮相公差の改正 11 月 第 14 回国際度量衡総会開催 国際単位の改正など決まる	6 月 7 日 東北テレビによる「みやぎ東西南北」で、くらしと計量 について解説 7 月 計量教室 気仙沼市で開催 30 名参加 9 月 産米調整技術等講習会開催 1 市 3 町 出席者 340 名 11 月 計量モニター制度実施 9 市 3 町 40 名委嘱 1 月 計量モニター反省会 於：気仙沼 2 月 量水器の保全管理の講習会開催 於：仙台市 3 月 計量器販売事業者講習会 県内 6 市 1 町で実施	4 月 計量教習所入所（草刈謙一） 6 月 7 日 計量記念日事業 協会と共催で実施 6 月 7 日 永年勤続者表彰 平間繁男通産大臣感謝状授与 11 月 ロードメータ検査機購入 3 月 大型分銅 500Kg 5t 購入
昭和 47 年 (1972)	5 月 計量法一部改正公布される。 家庭用計量器の技術基準、公害計測用計 量器の法規制など 5 月 日本計量器工業連合会創立 20 周年式典 9 月 計量管理協会創立 20 周年 10 月 光電式はかりの規制施行、検定開始	6 月、12 月 血圧計および体温計の無料検査実施 1 市 7 町 7 月 副会長 菊池吉兵衛就任 9 月、10 月 計量主任者研修会 3 市 6 町 出席者 673 名 2 月～10 月 計量教室の開催 3 市 5 町 出席者 228 名	2 月 基準台手動はかり（マスタースケール 1t）購入 3 月 仙台市内ハイタク料金改訂 3 月 富永製作所及び東北リオン計量器製造事業登録 4 月 計量教習所入所（星川大介） 11 月 光電式はかり確認調査指導 7 市 17 町
昭和 48 年 (1973)	7 月 騒音計の検定開始 7 月 計量行政審議会に「計量法の全面的多角 検討」諮問 9 月 公害計測技術指導書発刊（計量管理協会） 10 月 日計協第 1 回ヨーロッパ計量調査団派遣 11 月 11 月 （社）日本環境測定分析協会発足 12 月 計量行政審議会中間答申 ※オイルショック（石油ショック・石油危機） 1973 年 10 月	6 月 血圧計、体温計およびはかりの無料検査を実施 5 町 7 月 事務局長 平間繁男就任 8 月 商品の買い上げによる正味量表記方法の調査（於：気仙沼） 8 月 計量主任者研修会開催 3 市 6 町参加者 1, 571 名 2 月 観光土産品の公開試買検査会開催 2 月 商品試買検査ならびに商品量目の改善に関する懇談会開催 石巻市、塩釜市、古川市、白石市の 4 市	4 月 計量教習所入所（橋本勇一） 5 月 ミカド電機工業（株）タキシーメーター修理事業登録 6 月 計量関係功労者 小林 昇氏 通産大臣表彰 8 月 セドリックバン 2,000cc 新規購入 車輛 2 台になる 8 月 大型分銅 500Kg 購入 5t 9 月 都道府県計量行政協議会地区世話人会開催（於：仙台市） 1 月 タキシーメーター基準器（頭部検定用）10 台掛購入 2 月 大型分銅 500Kg 15t 購入

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 49 年 (1974)	4 月 日本計量器工業連合会社団法人化する 5 月 計量法一部改正案公布 計量販売、正味量表記の強化 環境計量士新設 計量証明事業改正 5 月 計量士総会で計量検査法人設立決議 6 月 計工連に計量機器情報センター発足する 11 月 計量研究所創立 20 周年記念式典 1 月 48 年の石油ショック以来資材不足高騰で 計量業界深刻な影響を受ける 2 月 長さ計、圧力計などの製造事業の高度化 進む	6 月 血圧計、体温計およびはかり精度確認検査を実施 5 町 器数 784 11 月 東北・北海道計量協会会長会議開催（於：勾当台会館） 1 月～2 月 計量教室の開催 松山町、涌谷町 出席者 53 名 2 月 商品試買検査ならびに商品量目の改善に関する懇談会開催 於：石巻市	4 月 計量教習所入所（荻原宗夫） 5 月 ガスメーター自動検定装置 3 組購入 6 月 東北・北海道計量技術連絡会議開催（於：検定所） 7 月 （株）高速 質量計修理事業登録 10 月 全国計量取締担当者会議開催（於：検定所） 11 月 東北・北海道計量検定所所長会議開催 2 月 （株）日本ビゼルバ質量計修理事業登録 （後 東北エヌビーと社名変更） 3 月 仙台市内ハイタク料金改訂
昭和 50 年 (1975)	3 月 改正計量法施行 3 月 30 日 第 1 回環境計量士国家試験行われる 3 月 第 1 回環境計量特別教習開始 5 月 15 日公害測定用のうどけいの検定開始 6 月 計量 100 年記念行事展開かれる 9 月 量目等の抽出検査実施 9 月 中央計量適正化委員会発足 10 月 計量関係手数料令改正	7 月 東北・北海道計量大会および計量協会連合会第 24 次総会 於：仙台市民会館 大会決算額 2, 937 千円（内基本金取崩 160 千円） （主な議題） 消費者保護と計量法 計量行政機構の強化拡大 2 月 家庭用計量器の表示マークの実施調査 4 市 14 町 2 月 計量教室の開催 米山町、鳴子町 出席者 36 名 2 月 商品試買検査ならびに商品量目の改善に関する懇談会開催 於：石巻市 2 月 消費生活講座リーダーコースの開催 於：仙台市 3 月 消費生活問題研究会開催 於：仙台市	4 月 規則第 33 号で行政組織規則の一部改正により、検定所の組織を 総務課・検定課・検査課の 3 課制となる。 4 月 計量教習所入所（武田巖） 6 月 計量 100 年ポスター配布 7 月 仙台市内ハイタク料金改訂 8 月 計量 100 年記念事業として「宮城県計量行政 100 年の歩み」発行 （明治 8 年～昭和 50 年） 2 月 計量検定所が事務管理改善優良職域として表彰受ける

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和51年 (1976)	2月 日計協「計量100年史」の編纂 3月 第2回環境計量士国家試験 4月 永六輔氏、「計量法粉碎コンサート」 曲尺、鯨尺問題提起 6月7日 計量関係功労者表彰 6月 計量適正化調査研究委員会 9月 計量に関する意識調査 10月 自然減量率調査研究部会開催 10月 計量単位一部改正 振動レベルの計量単位を「デシベル」 に定めた	3月 支部育成事業として協会に対する意識調査実施 4月～12月 事業者指導 6部会の開催 ○ 昭和34年から継続して公布されていた県補助金が一たび公布 打ち切りの連絡があったが、関係者の努力により再度復活の 実現となった 6月 計量記念日事業 ポスターの配布 計量教室(古川、白石、気仙沼) 延べ83名 医療用計量器の無料検査(古川、白石、気仙沼) 血圧計 69個 体温計 223本 9月 消費生活リーダー研修会(仙台 75名) 10月 自然減量率調査研究会への協力 11月 計量懇談会 仙台市内生活学級代表13名 商品試買検査会(気仙沼市)	5月28日 日本専売公社東北支社、計量記しよう事業場の指定 6月 計量関係功労者として平間繁男通産大臣表彰 8月 環境計量特別教習受講(菅原 功) 10月 計量教習所入所(伏見雅樹)
昭和52年 (1977)	2月 トレーサビリティ体系整備推進委員会初 会合 2月 計量法施行令一部改正により正味量表記 商品の追加指定(野菜、漬物、レトルト 食品等) 3月 計量法施行令一部改正によりデジタルヘ ルスメーターを家庭用計量器に追加 9月 計量行政審議会、曲尺、鯨尺問題で結論 通産大臣へ建議 10月 通産省「尺相当目盛付長さ計の取扱につ いて」通達 12月 計量100年史刊行員会初会合	6月 計量記念日事業 ポスターの配布 計量教室(迫、岩沼 97名参加) 計量主任者講習会(気仙沼、石巻、白石 151名参加) 8月17日 (社)宮城県計量協会計量証明事業者部会発足 部会長 三品大吉(東北緑化) 会員 25名 ○ 消費者意識調査 ○ 事業者指導 各部会18回開催 ○ 計量法講習会 28名参加	3月 郡部タキシーメーター料金改訂 3月 環境計量士国家試験対策説明会 4月 訪問販売に関する法律説明回(はかり製造、修理) 5月 計量技術協議会(質量計、体積計、長さ計) 6月 計量記念日事業(協会と共催実施) 8月 刊行土産品試買会(気仙沼) 8月 環境計量証明事業場、設備巡回検査 8月 環境計量特別教習受講(梅森宗雄) 9月 環境計量証明事業者講習会 9月 (有)気仙沼メーター、タキシーメーター修理事業登録 10月 東京電機(株)東北営業所、質量計修理事業登録 10月 仙台市内ハイタク料金改訂

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和53年 (1978)	5月 (社) 日本計量協会 会 長 朝永良夫 (工学博士、前工業 技術院長) 専務理事 堀 忠良 (前 前計量教習 所長) 9月 「計量100年史」完成 (社) 日本計量協会編 11月 計量関係手数料の一部改正 ・検定・検査手数料の改正 ・水道メーター児童検定に伴う通水検査 12月 計量法施行令の一部改正 ・指定検定機関の指定区分 ※宮城県沖地震 1978.6.18 M7.6 震度5	2月 計量教室 (仙台 30名) ・一般消費者対象のチラシ印刷配布 2,300部 ・事業者指導 (計量器販売事業者登録者講習会) 29回開催 延380名受講 ・各部会 延べ11回開催 ・『計量みやぎ』創刊 (計量記念日特集号)、2号・3号 6月 計量記念日事業 ・計量主任者講習会 (古川、塩釜 65名参加) ・医療用計量器無料検査 (築館、角田、大河原) 体温計877本 血圧計85個 ・ポスターの配布 400枚 6月 商品試買検査会 (気仙沼) 48名 10月 食肉試買検査会 (消費者団体)	6月 計量記念日事業 (協会と共催実施) 7月 うに食品の公開試買検査会 (消費生活センター 23名) 8月 松下電工、日立、血圧計・体温計の販売登録 (講習会 380名) 8月 環境 (濃度) 計量証明事業場、設備巡回検査 12月 ガソリン量器修理事業者講習会 12月 商品の計量販売実態調査 (仙台、泉、塩釜、岩沼 30人) 12月7日 国鉄仙台工場、計量器製造事業登録
昭和54年 (1979)	4月 ・電機抵抗線式はかり (ひょうりょう30Kg 以下) を検定対象機種へ追加 ・ガソリン量器の口径4cmから5cmに検 定対象拡大 ・アネロイド型血圧計検定対象 4月 基準器検査の一部を通産大臣から都道府 県知事へ委譲 ・タキシーメーター用基準器1000リット ル未満の液体メーター用基準タンク 4月 基準餓死メーターの有効期間を1年から 2年に延長 スカル)、温度 (ケルビン)	1月 生乳取扱技術者研修 (生乳検査協会) 50名 ○ 事業者指導 各支部11回開催 ○ 計量器販売事業者講習会 延20回 100名 ○ 計量みやぎ第4号～第6号発行 6月 計量記念日事業 ポスターの配布 500枚 6月 事務局長 半田清就任 参与委嘱 平間繁男 9月 農業用はかりの精度確認 古川市内5ヶ所 受検台数228台 11月 計量教室 (名取38名) 12月 かき試買検査 (消費生活センター) 21名	6月 計量記念日事業 医療用計量器の無料検査 (泉、名取、岩沼) 体温計877本 血圧計 85個 8月 環境計量証明事業設備巡回検査 9月 計量教習所入所 (米山達彦) 10月 生めん類公開試買検査 20名 11月 くらしと計量講座 (名取市 38名)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 54 年 (1979)	4 月 17 日 計量単位令の改正 基本単位：物質質量(モル)、圧力 (パスカル)、温度 (ケルビン)		
昭和 55 年 (1980)	3 月 31 日 計量研究所、筑波移転 ○ (社)日本計量協会「計量器販売登録の存続」を行政管理庁に陳情 8 月 通商産業大臣、計量行政審議会に「検定等の事務について」諮問 ○ 型式承認対象機種追加 ・商業用光電式はかり ・電気式タキシーメーター ・アネロイド型血圧計 10 月 日計協「計量器販売登録の存続」を陳情	6 月 計量記念日事業 ・ポスターの配布 400 枚 ・医療用計量器の無料検査 (角田、塩釜、多賀城) 体温計 265 本 血圧計 42 個 ・計量主任者講習会 (白石、石巻 120 名) 7 月 事務局長 大槻滋就任 7 月～12 月 各種商品の量目検査及び計量指導 かまぼこ、蜂蜜、生乳、食肉、生かき 地域食品の 6 品目 6 会場 延 156 名 9 月 農業用はかりの精度確認 (高清水) 160 台 ○事業者指導 計量器販売事業者講習会 延 24 回 受講者 120 名 ○ 各部会 9 回開催 ○ 計量量みやぎ第 7 号、8 号発行	4 月 計量検定所長 大槻滋就任 6 月 計量記念日事業 (協会と共催実施) ・計量主任者講習会 (白石、石巻 120 名) 8 月 環境計量証明事業設備 (濃度・騒音計) 巡回検査 10 月 計量教習所入所 (島倉道夫) 11 月 郡部ハイタク料金改訂
昭和 56 年 (1981)	○ (社)日本計量協会「全国歴史資料調査委員会」設置 6 月 計量法公布 30 周年記念式典 (於：東京會館) 8 月 計量教習所「特別課程」の新設		6 月 計量法公布 30 周年記念行事 (県・市・協会共催) 7 月 東北・北海道計量技術連絡会議 於：勾当台会館 8 月 東北・北海道計量検定所次長会議 於：計量検定所 10 月 農業用台はかり精度確認 登米町 180 台 11 月 仙台市内ハイタク料金改訂

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 57 年 (1982)	5 月 日計協役員大幅増員 会 長 朝永良夫 副会長 鈴木利平、大原和三郎、 片岡義雄、安藤賢一、 溝呂木金太郎、小野田元 広芝義賢 専務理事 堀 忠夫 常任理事 17 名 理 事 37 名 監 事 3 名 6 月 計量関係功労者、計量管理優良事業場通 産大臣表彰 永年勤続公務員通産大臣感謝状贈呈 9 月 「計量に関する史料の調査」報告 11 月 公害計測流量計の実施へ体制具体化 12 月 日計協理事会会費算定基準案結論得ず 12 月 計量審議会「流通業における計量器使用 事業場の拡大について」の報告を決定	6 月 計量記念日事業 ・ポスターの配布 400 枚 7 月 東北・北海道計量大会および第 31 回計量協会連合会総会 於：仙台東急ホテル 225 名出席 (主な議題) ・日計協会費の根拠 ・地計協財務基盤の確立 ・中央計量団体の統合 ・新しい計量ビジョン (大会決算) 総額 6,855 千円(内基本金取崩 860 千円) 支部交付積立金取崩 880 千円 工業部会積立金取崩 200 千円 8 月～11 月 計量器代行検査委員会開催(延 5 回) 11 月 東北電力(株)仙台火力発電所が計量管理による省エネルギーに顕著な成果をあげ(社)計量管理協会から計量管理賞を受賞した ○ 商品量目指導会 とうふ、生乳、食肉、生かき 4 品目 延 92 名 ○ 事業者指導 計量器販売事業登録講習会 延 16 回 165 名 ○ 計量主任者講習(女川 53 名) ○ 各部会 延 5 回開催 ○ 事業経営セミナー 「1980 年代は何故 T・Q・C か」 郵政会館 25 名	1 月 29 日 仙台鉄道管理局仙台工場、計量器使用事業場の指定 4 月 8 日 仙台市計量検査所新築移転 仙台市日の出町三丁目 5 番 32 号 敷地面積： 1,364.16 m² 建物構造：鉄筋コンクリート造 2 階建 建築面積：638.6 m² 建築費： 124,640 千円 6 月 計量記念日事業(協会と共催実施) ・医療用計量器の無料検査(古川、大河原、石巻) 体温計 262 本 血圧計 177 個

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 58 年 (1983)	2 月 通称「計量ビジョン」完成 5 月 日計協役員改選 副会長 鈴木利平、大原和三郎 専務理事 高橋仙蔵 6 月 家庭用はかりの販売登録廃止 6 月 24 日 計量法の一部改正 ・電磁式はかりを法定計量器に追加 ・電機抵抗線式はかり、ひょう量 2t を超えるもの、特定大型はかりと定め検定対象 ・特定大型はかり、最小メモリの値 1/2000 未満検定公差を定めた ・口径 2.5cm 以下の接線流羽根車式水道メーターの検定公差を 2.5% から 2% に縮小 ・積算ガソリン量器に最小限度量を定め、公差を限度量の 1/200 と定め、被計量物に A 重油・B 重油を追加 12 月 1 日 電気抵抗線式はかり(ロードセル)検定開始	2 月 23 日 代行検査の実施について、臨時総会開催満場一致をもって承認された 4 月 常勤計量士 白石孝男主事任用 大型はかり(仙台市と郡部の一部)の代行検査を開始する 76 台 4 月 宮城県工業部会役員改選 会 長 東北金門(株) 副会長 東北寺岡 会員数 51 名 6 月 事務局長 大村全守就任 6 月 計量記念日事業 ・ポスターの配布 300 枚 9 月 代行検査推進委員会開催 11 月 1 日 宮城県食糧事業協同組合の計量器使用事業場の業務の管理委託を受ける 12 月 宮城県の企業診断を受ける 協会経理を複式簿記に改める ○ 事業者指導 計量器販売事業登録講習会(延 10 回 90 名) ○ 各部会(ガソリン、体積、質量、タキシー等) 延 5 回 ○ 事業者経営セミナー 「省エネルギーと計量計測」ニューシティホテル 50 名 「環境白書と環境管理計画」シティホテル 15 名 「先端技術としての新素材産業」ニューシティホテル 50 名 ○ 計量みやぎ 第 11 号、12 号発行	4 月 計量検定所長に大村全守就任 4 月 大型はかり検査(仙台市と郡部の一部)協会へ委譲 6 月 計量功労者(地方公務員)として草刈謙一、通産省機械情報産業局長より表彰を受ける 6 月 計量記念日事業(協会と共催実施) ・医療用計量器の無料検査(白石、角田) 体温計 203 本 血圧計 67 個 ・東北放送テレビ、「宮城東西南北」放映 ○ 商品量目指導会(仙台、石巻) 食品のり、生かき 2 品目 47 名 ○ 計量に関する主任者講習会 ダイエー、生乳協会、明治乳業 53 名 ○ 計量に関する指導 食パン、こけし、宅配便等

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 59 年 (1984)	3 月 許認可の整理合理化に関する行政監察 5 月 機関委任事務等に関する検討 6 月 通産省計量課より総務課計量行政室に 8 月 量目検査検討委員会により、少量密封商 品、冷凍商品量目について検討 ○国際化対応研究委員会により、電子体温計に ついて検討	2 月 15 日 「宮城県計量協会の歩み」刊行にあたり、監修者懇談 会を開催、懷古談に花を咲かせた（於：計量検定所） 出席者 三浦一郎（元仙台郵政局用品更正所長） 谷津春雄（元福島県度量衡検定所長） 場地俊夫（国鉄主任計量士を経て東金商工勤務） 小林 昇（元計量検定所長、東北金門勤務） 平間繁男（元計量検定所長、日東石田ハカリ勤務） 半田 清（元計量検定所長、仙台測器社勤務） 大村全守（事務局長、計量検定所長） 菊池潤吾（理事、計量検定所次長） 菅原 功（理事、計量検定所検査課長） 梅森宗雄（理事、計量検定所検定課長） 白石孝男（協会主事） 3 月 商品の計量適正化講習会 各業種別組合代表 30 名参加 於：計量検定所 4 月 常勤計量士 2 名体制（杉野目邦男主事任用） ○ 大型はかり、ロードセルの県内全域の全面代行検査の実施、 仙台市内の光電式はかりを中心とした小型はかり類の所在 場所検査の実施 ○ 「宮城計量 100 年の歩み」刊行	6 月 計量記念日事業（協会と共催実施） 計量器の無料検査（名取市、岩沼市、泉区） アネロイド型・水銀血圧計 158 個 体温計 1,280 本 9 月 計量教習所入所（三浦謙治） 12 月 仙台市内ハイタク料金改訂 12 月 13 日 計量指導 ①魚肉ねり製品の公開試買検査 （於：県消費生活センター 24 名） ②観光土産品公開試買検査 （於：仙台合同庁舎 15 名） ③食肉試買検査 （於：石巻市保険相談センター 19 名） ④生食用かき検査会 （於：河南町母子保険センター 34 名） ⑤生乳の計量講習会 （於：宮城県生乳検査協会） ⑥環境計量証明事業者指導

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 59 年 (1984)		6 月 (社) 宮城県計量協会第 27 次通常総会開催 (於：宮城県婦人会館) 6 月 計量記念日事業 (県と共催) 7 月 第 33 次東北・北海道計量協会連合会総会 10 月 計量管理優良事業場視察 日本国有鉄道仙台工場、東北金属工業 (株) 28 名参加 11 月 計量計測管理実態調査 (兵庫県計量協会視察) 12 月 計量関係事業者環境計量証明事業者研修会 「コンピューター機器の経営上の活用セミナー」 於：仙台共催会館	
昭和 60 年 (1985)	4 月 日本電信電話 (株) および日本タバコ産業 (株) 適管指定権限が知事に委譲 5 月 (社) 日本計量協会 72 回通常総会 於：東京日本計量会館 会長表彰 鳴瀬謙三理事受賞 7 月 メートル条約 100 周年記念全国大会 ・行政改革の推進方策に関する答申 (権 限の委譲関係) ・基準器検査・計量器使用事業場・特 殊容器製造・計量士の登録 ・政府与党対外経済対策推進本部「市 場アクセス改善のための行動計画」(ア クションプログラム) の骨格を決定 9 月 東京・関東・四国の 3 郵便局委託計量士 を導入し計量管理実施	4 月 (社) 宮城県計量協会事務局長に氏家健一就任 (検定所長) 5 月 宮城県計量協会第 28 次通常総会開催 (於仙台弥生会館) 会費規則の改正、役員の補充 6 月 計量記念日事業 (県と共催) 7 月 メートル条約 100 周年全国大会、筑波万博ツアー実施 7 月 東北・北海道計量大会および第 34 次計量協会連合会総会 於：会津若松市 芦ノ牧温泉 連合会長表彰 鈴木彦吉理事 7 月 第 1 回東北六県・北海道計量協会会長会議 (福島県) 9 月 第 2 回東北六県・北海道計量協会会長会議 9 月 計量証明事業部会「浄化槽法について」研修 9 月 計量器工業部会 サッポロビール (株) 名取工場視察 11 月 計量器コンサルタント研修 (11 月～1 月) 受講者 25 名 ○ 計量関係事業者経営セミナー 於：仙台卸町会館 ・「POS システムの動向と活用事例」(財) 流通システム開 発センター 関川仁美講師	4 月 氏家健一計量検定所長就任 6 月 計量記念日事業 (協会と共催実施) 計量器の無料検査 (石巻市、古川市、多賀城市) 血圧計、体温計 6 月 郵政関係計量管理事務打合せ会 6 月 全国計量行政機関連絡会議 「郵政省関係計量器使用事業場の取扱」提示 7 月 東北・北海道計量行政会議 (於：会津若松市 芦ノ牧温泉) 8 月 東北・北海道検定所次長会議 9 月 計量教習所入所 (千葉英樹) 10 月 計量指導 ・観光土産品の表示に関する試買検査 仙台市 ・消費者教室 河南町 ・計量の適正化講習会 仙台市 ・生乳の計量講習会 仙台市 ・61 年度提起検査打合せ会 関係市町村担当 仙台市

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和60年 (1985)	11月 (財)機械電子検査検定協会長と測長器の 検査業務を開始	・「最近の技術革新と今後の経営」東北工業大学 佐伯昭雄講師 ・濃度に関わる諸問題について 計量検定所検定課長 梅森宗雄講師 ・質量計に関わる検査取扱要領、計量行政及び計量業界の最近の動向 計量検定所検査課長菅原功講師 ※宮城県計量協会の標章制定 (日本画の跡部画伯デザイン)	2月 県・仙台市・協会三者事務打合せ会 
昭和61年度 (1986)	5月 電気計器検定等は指定検定機関で行う 5月 計量協会長表彰 和田朝雄副会長受賞 7月 環境計量士の登録要件の改正 実務1年委譲従事した旨の証明書添付 8月 郵政局の計量管理委託計量士を導入 東京都316局・栃木県330局 群馬県323局・高知県312局 11月 '86全国計量大会 於：東京會館 12月 日本国有鉄道改革法案(分割民営化) 3月 電気ガス供給業に係る計量器使用事業場の指定を知事に委譲 アクションプログラムの決定に基づき外国データーの受入	4月 質量計計量証明事業を検定所から協会に委譲 、事業開始 5月 計量器工業部会総会 於：仙台共済会館 計量士部会総会 於：県計量検定所 計量証明部会総会 於：勾当台会館 流通部会 於：仙台共済会館 6月 計量記念日事業 (県と共催) 「計量のひろば」 藤崎リビング館で開催 大声測定・体重測定・計量クイズ・くらしと計量 6月 第29回 (社)宮城県計量協会通常総会 於：五ツ橋会館 7月 第35次東北六県・北海道計量協会連合会総会 於：函館湯川温泉 307名参加 7月 第1回東北六県・北海道計量協会長会議 於：函館市 8月 協会事務局長に菅井晃 (計量検定所長) 就任 9月 時局講演 於：勾当台会館 「円高とこれからの経済」日興証券 植木靖講師 「チェルノブイリ原発事故と県の対応」 原子力安対策室 鈴木一弘講師	4月 仙台市内ハイタク料金改訂 4月 計量証明事業を県の行政改革委員会より廃止の指示があり、計量協会へ委譲する。 6月 全国計量行政機関連絡会議 6月 計量記念日事業「計量のひろば」開催 計量教室 (築館町 60人 千葉・加藤コンサルタント) 計量器販売事業登録講習 (若柳町 30人) 水産物の計量講習会 (塩釜市仲卸市場 70名参加) 検定所検査課長 菅原功講師 7月 東北・北海道地区計量行政会議 8月 東北・北海道検定所次長会議 8月 菅井晃計量検定所長就任 11月 全国計量大会

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 61 年度 (1986)		12 月 流通事業者計量管理講習 於：仙台共催会館 60 名参加 「食品小売業の消費者動向と今後の展望」 中小企業診断士 菅井喜一講師 各業界の流通情報化の動き (財) 流通システムセンター 浅野恭右講師 松下電器産業(株)、トーキン白石工場視察 29 名	
昭和 62 年 (1987)	4 月 日本国有鉄道改革により、国鉄が分割民営化、7つの鉄道会社が設立 ・計量管理事業場指定権限知事に委譲 ・検定対象品目の縮減（検定対象から除外、法定計量器から除外） ・計量器の有効期間の延長（比較検査・基準器検査） 11 月 計量単位の一部改正により、気象の単位がミリバールからヘクトパスカルに変わる 2 月 ‘87 計量全国大会 於：東京會館 「これからの余暇時代について」 (財) 余暇開発センター 山田主任 研究官講師	5 月 (社) 宮城県計量協会第 30 回通常総会 於：秋保グランドホテル ・定款の一部改正 ・会費規則の改正 5 月 計量器工業部会・計量証明事業部会・計量士部会・流通部 会会議開催 於：秋保グランドホテル 6 月 計量記念日事業（県と共催） 「計量のひろば」 藤崎リビング館で開催 ・体温計、血圧計無料検査（白石市） 6 月 8 支部長会議、三役、検定所各課長会議 於：白石市不忘荘 6 月 「身近な食品衛生と計量について」 於：白石市中央公民館 婦人学級 30 人 7 月 東北北海道計量大会及び連合会総会 於：青森グランドホテル 会長表彰 猪股良一受賞 7 月 第 1 回東北六県・北海道計量協会長会議（青森市） 第 2 回東北六県・北海道計量協会長会議（10/6 天童市）	5 月 東北六県特定市計量管理事務打合せ（十和田） 6 月 全国計量行政機関連絡会議 6 月 計量記念日事業（協会と共催） ・みやぎテレビ「みんなの輪」菅原検査課長出演 ・グラフ宮城「計量の大切さ」掲載 7 月 東北北海道計量検定所長会議（青森市） 8 月 東北北海道検定所次長会議 9 月 東北・北海道計量技術連絡会議 9 月 消費生活モニター合同学習会（名取市） 10 月 生乳の計量講習会（仙台市） 11 月 環境計量技術研究会 11 月 Aコープ計量管理講習（仙台市） 12 月 環境計量特別講習 三浦謙治 2 月 定期検査関係市町村担当者会議 3 月 事業規程と再登録手続きについて 於：勾当台会館（検定所武田技術主査）

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和 62 年 (1987)		9 月 第 2 回コンサルタント研修 (10 日間) 25 名受講 (計量器コンサルタント) 資格証明書交付 (日計振発行) 11 月 宇宙開発事業団角田ロケット開発センター視察 3 月 「企業を伸ばすリーダーシップの条件」 安藤文男 講師 労務管理士 「最近の食品事情」 小場正彦 仙台環境衛生課長	
昭和 63 年 (1988)	1 月 新行政改革推進会審議会関係 計量器の販売等の事業登録、計量器の検 定・型式承認の調査 2 月 特定試験機関制度発足 (財)機械電子検査検定協会を指定 4 月 郵政省における計量管理外部委託 岐阜県 429 局・兵庫県 398 局 島根県 367 局・北海道の一部 311 局 5 月 (社)日本計量協会第 75 回通常総会 於：東京都日本計量会館 会長表彰 鈴木彦吉理事受賞 6 月 臨時行政改革推進会審議会小委員会 型式承認の拡大、検定の有効期間の延長、 定期検査の周期について 6 月 総務庁行政監察 登録申請事務の処理機関の調査 9 月 計量全国大会 於：東京ホテルパシフィック	5 月 (社)宮城県計量協会第 31 回通常総会 於：松島町 ホテル大観荘 6 月 計量関係功労者 鍋島綾雄会長 通産大臣表彰 6 月 計量のひろば開催 J R 仙台駅 大声測定・自由体重測定・計量クイズ・くらしと計量パネ ル展・風船配布 約 2, 000 人参加 7 月 東北六県北海道計量大会及び計量協会連合会第 37 次総会 於山形県上山 村尾旅館 会長表彰 菊池隆吉受賞 7 月 第 1 回東北六県・北海道計量協会会長会議 (山形上山市) 第 1 回東北六県・北海道計量協会会長会議 (仙台市 10/12) 7 月 平成元年度東北・北海道計量大会宮城大会実行委員会結成 会 長 鍋島綾雄 実行委員長 和田副会長 〃 副委員長 民野副会長 総務部会長 平間理事 運営部会長 金井理事	5 月 県・特定市計量行政連絡会議 5 月 東北六県特定市計量管理業務打合せ (秋田県男鹿市) 6 月 計量記念日事業 (協会と共催) 6 月 通産大臣より永年勤続の感謝状授与 (梅森宗雄) 6 月 消費生活学級 (石巻市 40 人参加) ・知っておきたい冷凍食品の知識 ・血圧計、体温計の無料検査 7 月 東北北海道地区計量行政会議 8 月 東北北海道計量検定所次長会議 8 月 東北北海道計量技術連絡会議 9 月 計量検定所長事務取扱に佐藤忠商工労働部次長兼任 10 月 魚介類の加工品試買検査 (石巻市) 11 月 計量管理講習会 (仙台市勾当台会館) ・生鮮食品の計量の適正化 12 月 ○生乳の計量講習会 (仙台市) ○海藻類の加工品試買検査会 (仙台市) 2 月 東北北海道計量技術連絡会議 (茨城県 つくば)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
昭和63年 (1988)		宿泊懇親部会長 千葉(英) 理事 視察観光部会長 民野副会長 9月 事務局長に佐藤忠商工労働部次長就任 12月 先端技術と計量管理事業場視察 ・東北セミコンダクター(株) 半導体及び工場の計量管理について ・阿部蒲鉾店(株) 食品の量目管理 ○ 計量関係講習会 ・消費税について 仙台国税局小川事務官 ・合理的な企業経営について 仙台商工会議所高橋和夫コンサルタント	
平成元年 (1989) ※改元年	5月 (社)日本計量協会第76回通常総会 会長表彰 菊池隆吉理事受賞 6月 尺相当目盛付き長さ計の取扱改正 10月 振動レベルの証明書に「計量証明」の語句を使用しても可 ・肥料及び飲料水、風速、透視度、電気伝導率、大腸菌群数には、計量法上の登録を要しない。 ・非法定計量単位目盛の併記 輸入は乳瓶はml・ozは併記可 11月 未検定の外国製はかり、型式承認を受け、検定を受けること。販売については登録を要する	4月 協会事務局長に青山宏検定所長就任 6月 第32回通常総会(於:江陽グランドホテル) 知事褒賞 和田朝雄付記会長、成瀬謙三理事受賞 6月 計量記念日事業 計量教室「身近な食品衛生と計量」 (財)日本缶詰検査協会 山城勇興講師 連合会長表彰 加藤貞雄理事、桜井久雄主事 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議(於:パレス松島) 第2回東北北海道計量協会会長会議(秋田市 10/2)	4月 計量検定所長青山宏就任 5月 県・特定市計量行政連絡会議 5月 東北六県特定市計量管理打合せ会 6月 全国計量行政機関連絡会議 6月3日 みやぎ東西南北TV放映 「スポット in スポット」 「生活の基本」はかりについて 武田技術主査出演 6月 体温計・血圧計無料検査(塩釜市) 7月 東北北海道地区計量行政協議会(於:パレス松島) 8月 東北北海道計量技術連絡会議 9月 東北北海道検定所次長会議 10月 平成元年度第2回地区世話人会(於:サンルート蔵王)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成元年 (1989) ※改元年	12月 郵政省委託小荷物取扱用はかりは、検定を受けたもので、定期検査の対象となる  修復された指導標	7月 東北北海道計量大会及び第38次連合会総会 於：ホテル大観荘 210人参加 「記念事業 蔵王山頂メートル指導標修復」 60年経過した蔵王山頂のメートル指導標を修復する。 12月 流通事業者計量管理講習 於：宮城県経済連生鮮食品集送センター ・先端技術と計量管理事業場指導 東北電力(株)仙台火力発電所 キリンビール(株)仙台工場 ・大気汚染防止法 県環境管理課大気係 ・水質汚濁防止法 県環境管理課水質係	10月 計量取締実務担当者会議（徳島県） 12月 ○豆腐の試買検査（於：古川市健康センター） ○県計量行政と法改正について（於：検定所） ○魚介類の加工品の試買検査（石巻市）  メートル指導標から望む蔵王山お釜

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成2年 (1990)	5月 (社)日本計量協会第77回通常総会 会長表彰 加藤貞雄理事受賞 7月 国際温度目盛の改正 水野沸点 100℃から 99.974℃に変更 8月27日 通商産業大臣から計量行政審議会へ 「新時代における計量行政の在り方」を諮問 ①国際化への対応 ②技術革新への対応 ③消費者利益への対応 (審議会の中に第1・2・3 専門部会設置) 10月 電圧基準器の起電力の範囲の変更 11月 膜式ガスメーターの形式承認対象範囲拡大 (5立方/hから7立方/h)	6月 第33回通常総会 於：サンルート蔵王 知事褒賞 八島健介理事受賞 飯田信五郎 <u>専任事務局長</u>に就任 6月 計量のひろば開催 (於：ダクシンテイ丸光) 生鮮食品の販売と計量法 (菅原技術主幹) 『計量協会組織の再編成』 ・計量器工業部会 質量計、計量証明、体積計、タキシーメーター各分科会 ・環境計量部会 環境測定、理化学計測器、環境計量士分科会 ・計量士部会 一般計量士 ・流通部会 デパート、スーパー、食品製造 ・計量器コンサルタント部会 コンサル ・販売部会 支店、本店 ○ 常任理事制の採用 7月 東北北海道計量大会及び第39次連合会 (秋田市) 第1回東北北海道計量協会会長会議 (秋田市) 第2回東北北海道計量協会会長会議 (盛岡市) 11月 優良事業所視察 東北リコー(株)、仙南・仙塩広域水道事務所 12月 流通事業者計量管理講習会 「経営者の計量管理について」 東京都 武田計量士 「正量取引」強調運動の意義 県計量検定所	2月 東北北海道計量技術連絡会議 (群馬県 つくば市) 2月 市町村計量事務担当者会議 4月 梅原康一計量検定所長に就任 (協会常務理事就任) 4月 計量教習所入所 (狩野政信) 5月 県・特定市計量行政協議会 (於：検定所) 6月 全国計量行政機関連絡会議 6月 東北六県特定市計量管理事務打合 6月 計量記念日事業 計量のひろば開催 (協会と共催) 6月 流通事業者計量管理講習 (於：古川市役所) 「生活と計量」みやぎテレビ放映 7月 環境計量証明事業 計量器の巡回検査 7月 梅森技術次長逝去 7月 東北北海道地区計量行政連絡会議 (秋田市) 8月 東北北海道計量技術連絡会議 (札幌市) 9月 東北北海道計量検定所次長会議 (会津若松市) 9月 消費者大学 「くらしと計量」(築館町ふるさとセンター) 9月 計量教習所入所 (水戸伸一) 10月 計量取締実務担当者会議 (山形県天童市) 10月 TBC テレホンネットワーク放映 「計量法改正の動き国際単位」 菅原技術主幹

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成3年 (1991)	1月 計量行政審議会各専門部会 中間報告会開催 2月 第1専門部会 ・検定検査制度のあり方、基準器検査の あり方審議 3月 計量関係手数料の改正 第3専門部会 ・計量証明事業、法定計量単位、計量標 準供給体制等審議 4～6月 計量行政審議会各専門部会開催 5月24日 (社)日本計量協会第78回通常総会 会長表彰 白石孝男事務局長、 高橋恒寿理事受賞 9月 (社)日本計量協会事務担当者会議 10月29日 全国社団法人地計協懇談会 11月28日 計量制度100周年記念式典 於：東京都ホテルニューオータニ 天皇・皇后両陛下御臨席 内閣総理大臣感謝状 10名 通産大臣表彰 78名 鍋島綾雄会長・平間繁男理事受賞	3月15日 「みやぎ計量記念日事業実行委員会」結成 5月 計量協会第34回通常総会 於：白石市小原 かつら旅館 宮城県知事褒賞 佐々木猛理事 ・会費規則の改正 6月 計量制度100周年記念「'91みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎リビング館 ・記念日ポスター小中学校関係事業所に配布 1200枚 7月 東北北海道計量大会及び第40次連合会総会 於：松島町 ホテル大観荘 会長表彰 新田弘理事、阿部章受賞 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議(盛岡市) 第2回東北北海道計量協会会長会議(福島県飯坂温泉) 8月 各部会合同役員会開催 ・計量士、計量器コンサルタント(8/7) ・計量器工業、環境計量、流通部会(8/9) 8月28日 販売事業部会の設立 10月 優良事業所視察研修 ・YKK 吉田工業(株)東北工場 ・ラサ工業(株)三本木工場 12月 「土壌環境汚染物質の告示について」 県環境監理課 菅原隆一講師 「最近の環境問題について」 仙台市公害規制課 早田博直講師	1月 生食用かきの生産事業(社)指導 モニター合同研修会(於：検定所) 2月 市町村計量事務担当者会議 2月 商品量目管理講習会(於：検定所) 観光土産品試買検査会(於：仙台市商工会議所) 3月 通産省依頼はかり使用実態調査(塩釜商店街) ○ 果実飲料試買検査(県民生活課) ○ 菓子類の試買検査(石巻市) ○ 指定事業所調査(郵政省) 3月 仙台市内タクシー料金改定 5月 県・特定市計量行政会議 6月 全国計量行政機関連絡会議 6月 通産大臣永年勤続感謝状 菅原功受賞 7月 東北北海道地区計量行政連絡会議(岩手県盛岡市) 7月 東北北海道計量技術連絡会議 9月 東北北海道計量検定所次長会議 10月 東北北海道地区計量行政連絡会議(福島県福島市) 12月 計量技術研究会議(東京都)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成3年 (1991) 平成4年 (1992)	1月 小泉袈裟勝経済博士（日本の計量史研究者）「ものさし」で学位授与（京大） ○計量行政審議会に計量法改正案の概要提示 3月 計量行政機関認定制度に関する懇談会 計量法全面改正法案国会提出 4月20日 計量法改正法公布 5月 （社）日本計量協会第79回通常総会 会長表彰 新田弘理事受賞 6月 通産省計量行政室長津田博就任 6月 第41回計量記念日行事全国一斉開催 9月 地方計量協会事務担当者会議 於：秋保温泉 ホテル佐勘 10月 計量全国大会（東京都 竹橋会館） 12月 気象庁「ミリバール」「ヘクトパスカル」に変更	1月 「窒素酸化物の実態とその対策」 北日本環境整備(株) 千葉信弘講師 エヌ・エス環境科学(株) 浅野幸雄講師 2月 「国際単位系（SI）について」 計量研究所 山本弘講師 5月 計量協会第35回通常総会（ホテル佐勘） 知事褒賞 福原栄寿監事受賞 6月 計量記念日事業「92みやぎ計量のひろば」開催 於：検定所 ・計量の歴史パネル、各種計量器展示、医療用・家庭用計量器の無料 検査、体力測定、目方あて、計量クイズ、タキシーメーター・トラ ックスケール紹介 ・計量相談コーナー 7月 東北北海道計量大会及び第41次連合会総会 於：福島県郡山市磐梯熱海温泉 ホテル華の湯 会長表彰 千葉英男理事、伊藤毅主事受賞 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議（郡山市） 第2回東北北海道計量協会会長会議（北海道洞爺湖） 10月 優良事業所視察研修会 日産自動車(株) 追浜工場 11月 計量器工業・流通部会合同研修会 於：仙台共催会館 ・「改正計量法について」菅原技術次長講師 ・「ゴミの問題について」仙台市環境局	2月 市町村計量事務担当者会議 2月 東北北海道計量技術連絡会議（群馬県つくば市） 3月 都道府県計量行政協議会（東京都） 3月 県・特定市計量行政会議 3月 都道府県計量行政協議会臨時総会 6月 計量管理事務連絡協議会（於：白石市） 6月 計量管理講習会（エンドーチェーン本部） 7月 東北北海道地区計量行政連絡協議会（山形市） 7月 東北北海道計量技術連絡会議 東北地区実務担当者会議（山形市） 9月 東北北海道計量検定所次長会議（青森市） 9月 新計量法説明会（於：県民会館 220名参加） 通産省計量行政室環境計量班長 釜土祐一 ・SI単位への移行について 計量研究所主任研究官 山本弘 10月 東北北海道地区計量行政会議（北海道洞爺湖） 12月 都道府県計量行政会議 全国計量行政機関連絡会議

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成5年 (1993)	5月 (社)日本計量協会第80回通常総会 会長表彰 千葉英夫理事受賞 9月 全国地方計量協会事務担当者会議 於：新潟市佐渡 11月 計量全国大会 於：東京都パストラホテル	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議（於：福島市） 5月 計量協会第36回通常総会（ホテル佐勘） ・役員の改選 6月 新計量法公布記念「'93みやぎ計量のひろば」開催 宮城県・仙台市・協会共催 於：計量検定所 ・記念日ポスターの配布 ・宮城県計量検定所の公開 ・S I単位、くらしと計量 ・計量器の検定、計量器の展示 ・家庭用計量器の無料検査 ・大声コンテスト ・体力測定、目方当て、あめのつかみ取り ・タクシーメーターの検定実演 7月 東北北海道計量大会及び第42次連合会総会 於：札幌市 ホテル厚生年金会館 会長表彰 千葉信弘受賞 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議（札幌市 定山溪） 第2回東北北海道計量協会会長会議（青森市浅虫 10/5） 9月 新計量法講習会 ・質量計量証明（於：南農協会館） ・体積事業（社）（於：検定所） ・環境計量証明（於：南農協会館） ・流通事業者（於：仙台プラザ） ・指定事業場（於：南農協会館）・他事業所（於：検定所） 11月 (社)日本計量士会東北地区支部協議会（盛岡市） 12月 環境計量部会研修会（KKRホテル仙台）	2月 市町村計量事務担当者会議 2月 東北北海道計量技術連絡会 3月 都道府県計量行政協議会総会 全国計量行政機関連絡会議 6月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催 7月 東北北海道地区計量行政連絡会議（札幌市 定山溪）

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成6年 (1994)	2月 計量法説明会 於：勾当台会館 116名 3月 (社)日本計量協会正副会長会議 総務・事業合同会議 5月 (社)日本計量協会第81回通常総会 会長表彰 永澤勁理事受賞 9月 全国地方計量協会事務担当者会議 於：三重県鳥羽市 10月 計量全国大会 於：東京都 テピヤ	2月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (於：札幌市) 6月 計量協会第37回通常総会 (ホテル佐勘) 知事褒賞 高橋恒寿理事受賞 ・定款改正 代検査手数料の改定の件 7月 計量器工業部会 (計量検定所) 計量士部会 (協会役員室) 8月 東北北海道計量大会及び第43次連合会総会 於：青森県青森市 ホテル青森 8月 第1回東北北海道計量協会会長会議 (青森市浅虫) 第2回東北北海道計量協会会長会議 (山形県 10/13) 8月 計量記念日実行委員会 (於：検定所) 10月 計量記念日事業「計量のひろば」 於：藤崎リビング館 3,046名参加 11月 優良事業所視察研修 (株)一の蔵、理研食品(株)	2月 定期検査事務打合せ (於：勾当台会館) 2月 県・仙台市・協会計量業務打合せ会 (於：検定所) 4月 中川英樹計量検定所長就任 10月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催
平成7年 (1995)	5月 (社)日本計量協会第82回通常総会 会長表彰 阿部安太郎理事受賞 9月 全国地方計量協会事務担当者会議 於：北海道 定山溪	2月 東北六県北海道事務局長会議 於：青森市 アラスカ館 4月 仙台市佐藤昭彦顧問委嘱 6月 計量記念日事業 県内小中学校、各市町村、団体ポスター配布 1,000枚 三越・藤崎前でティッシュ配布 5,000個 6月 計量協会第38回通常総会 (ホテル佐勘) 知事褒賞 新田弘理事受賞 7月 東北北海道計量大会及び第44次連合会総会 於：山形県天童市 ホテル王将 会長表彰 鈴木茂副会長受賞	2月 市町村計量事務担当者会議 2月 県・仙台市・協会事務連絡会議 (於：検定所) 4月 佐藤昭彦仙台市計量検査所長就任 6月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催 7月 東北北海道地区計量行政連絡会議 (於：山形県)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成7年 (1995)		7月 第1回東北北海道計量協会会長会議（山形県天童市） 第2回東北北海道計量協会会長会議（仙台市 10/17） 7月 環境部会研修（於：KKR ホテル仙台） 「新計量法に基づく事業規程」について 7月 計量器工業部会・流通部会・販売事業部会 （於：パレス松州） 「新計量法に基づく代検査等の諸問題」	
平成8年 (1996)	5月 （社）日本計量協会第83回通常総会 会長表彰 佐藤実常任理事受賞 9月 全国地方計量協会事務担当者会議 於：京都市 10月 第2回（社）日本計量協会総会 地計協のあり方 公益法人の設立許可及び監督基準 10月 全国計量大会 於：東京都虎ノ門パストラル （特別講演） ・富士山を計る ・高齢化社会における健康管理セミナー ・余暇生活における時間概念セミナー	3月 東北六県北海道事務局長会議（於：山形市） 3月 平成7年度臨時総会（於：計量検定所） 新規事業（工業品材料分析受託事業） 定款の一部改正 3月 菅原功専務理事就任 4月 工業品材料分析（鉄筋・コンクリート）事業開始 6月 計量協会第39回通常総会（ホテル佐勘） 知事褒賞 伊藤毅計量士受賞 定款の一部改正（事業変更・従たる事業所の設置） 工業品材料の試験開始とその住所 役員改選 7月 東北北海道計量大会及び第45次連合会総会 於：宮城県 ホテル佐勘 参加者 300名 会長表彰 半田清理事、古谷文行理事 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議（宮城県ホテル佐勘） 第2回東北北海道計量協会会長会議（秋田県 10/24）	2月 関係市町村定期検査事務打合せ（於：検定所） 3月 県・仙台市・協会事務連絡会議（於：検定所） 7月 東北北海道計量行政会議（於：仙台市） 11月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成8年 (1996)		11月 計量記念日事業「'96 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎リビング館 ・計量の大切さ ・健康と計量 ・米俵目方当て ・計量器の展示 ・チャリティバザー 参加者 2,000人 ポスターの配布 県内小中学校 1,000枚 10月 コンクリート製造技術講習会（於：仙台市南農協会館） 材料試験機の使用法 （株）東衡テスタック 荒瀬昇専務取締役講師 品質保証とISOについて 工業技術センター 吉田徹規格情報室長 11月 優良事業所視察研修 セコム工業(株)、アイリスオーヤマ(株)工場 11月 計量教習所入所（松倉賢一）協会育成第1号 12月 溶接自動化講習会（泉区 ダイヘン東北支社） 最近の溶接ロボットについて 最近のロボット及び周辺機器について	
平成9年 (1997)	5月 （社）日本計量協会第84回通常総会 会長表彰 飯島紘監事受賞 8月 （社）日本計量協会理事会 日計協・地計協事業に関するアンケート 調査について 9月 全国地方計量協会事務担当者会議 （於：石川県）	3月 東北六県北海道事務局長会議（於：仙台市 ホテル白萩） 3月 （社）日本計量士会東北・北海道地区計量士会 （於：仙台市 ホテル白萩） 6月 計量協会第40回通常総会（ホテル佐勘） 宮城県知事褒状 後藤勇計量士受賞 吉田所長特別会員理事、工藤宗佐分室長を理事に選任	2月 特定計量器定期検査事務打合せ会（於：勾当台会館） 3月 県・仙台市・協会事務連絡会議（於：検定所） 4月 吉田俊郎計量検定所長就任 11月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成9年 (1997)	10月 全国計量大会 於：東京都虎ノ門パストラル (特別講演) 「小川宏の人生エッセイ」 「ISO14000シリーズ」 情報家電の将来動向について (財)日本品質保証機構	7月 東北北海道計量大会及び第46次連合会総会 於：秋田県 秋田ビューホテル 参加者 250名 会長感謝状 白石孝雄常任理事受賞 会長表彰 阿部安太郎理事受賞 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議 (秋田県秋田パークホテル) 第2回東北北海道計量協会会長会議 (岩手県 11/6) 7月 優良事業所視察研修 「原子燃料サイクル施設」青森県六ヶ所村 9月 コンクリート製造技術講習会 工業標準化法の改正について 最近の新種セメント高性能コンクリートについて 鈴木晴美東北通産局工業標準審査官 10月 企業経営幹部のための技術講演会 於：みやぎ第一ホテル 11月 計量記念日事業「'97 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎リビング館 ・国際単位 ・健康と計量 ・体脂肪 ・テミスの像目方当て・チャリティバザー 植木鉢 800個 参加者 1,500人 ※バザー売上金 66,453円を光のページェントに寄付 11月 「半導体集積回路技術の挑戦」について (仙台南会館) 飯塚尚和工学博士 工業技術センター副所長 12月 流通関係事業の計量管理講習 (於：ホテル白萩) 「市民生協における計量管理」について 関口栄吉 元北海道計量検定所長	

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成9年 (1997)		2月 東北六県北海道事務局長会議（於：秋田市 泰山荘）	2月 特定計量器定期検査事務打合せ会（於：勾当台会館） 3月 県・仙台市・協会事務連絡会議（於：検定所）
平成10年 (1998)	5月 （社）日本計量協会第85回通常総会 会長表彰 千葉信弘副会長受賞 10月 全国計量大会 於：東京都 虎ノ門パストラル （特別講演） ・計量法を取巻く最近の状況 辻本圭助計量行政室 ・計量制度の国際化の現状 桜井慧雄計量研究所 ・最近の環境問題 松岡広和日本環境科学 11月 計量記念日 全国統一ポスター	6月 計量協会第41回通常総会（江陽グランドホテル） 宮城県知事褒状 菊池隆吉理事受賞 7月 東北北海道計量大会及び第47次連合会総会 於：岩手県 繋温泉「ホテル紫苑」 参加者250名 会長表彰 西山康正副会長受賞 （記念講演）「平泉政権と鎌倉幕府」 高橋富男東北大名名誉教授 7月 第1回東北北海道計量協会会長会議（岩手県盛岡市） 第2回東北北海道計量協会会長会議（福島県 10/15） 10月～2月 工業部会主催技術セミナー 「ISO19000について」（仙台南会館） ・天秤を主としたISOとトレーサビリティ （株）島津製作所 川本晟講師 ・材料試験機を中心としたISOとトレーサビリティ （株）島津製作所 栗野高史講師 ・環境ホルモンの現状と対策（ホテル白萩） 宮城県保険環境部技術副参事 高橋伸行講師 ・騒音計の有効期間・証明検査機関の改正 11月～1月 家庭用計量器無料検査 仙台市・白石市・角田市・石巻市 139台	4月 仙台市計量検査所長 松井英紀就任 7月 東北北海道計量行政会議（盛岡市） 7月 質量標準管理マニュアルの説明会 11月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 10 年 (1998)		11 月 計量記念日事業「'98 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎アネックス ・国際単位 ・血圧と計量 ・体脂肪測定 ・ささにしき米俵の目方当て ・バザー ※売上金 55,000 円 骨髓バンクへ寄付 ・ポスター1,000 枚、ティッシュ 3,000 個配布 11 月 (社)日本計量士会東北地区支部協議会 於：岩手県 ホテルリッチ 11 月 JIS 改正に伴う材料試験機講習会 (岩手県 国保会館)	
平成 11 年 (1999)	5 月 (社)日本計量協会第 86 回通常総会 於：東京都虎ノ門パストラル 「<u>計量三団体統合承認</u>」 (社)日本計量協会・(社)日本計量士会・計量管理協会が統合し平成 12 年 4 月 1 日より、(社)日本計量振興協会となる 会長表彰 西山康正受賞 7 月 全国地方計量協会事務担当者会議 於：東京都 11 月 計量全国大会 於：東京都虎ノ門パストラル (講演) 「健康・環境及び消費者保護のための計量分野の拡張について」 「EU における消費者保護の現状」	2 月 東北六県北海道事務局長会議 (於：盛岡市 イーハートブ) 4 月 守正志計量検定所長・松井英紀仙台計量検査所長に協会顧問委嘱 6 月 計量協会第 42 回通常総会 (ホテル佐勘) ・泉材料試験室を協会分室とする ・役員(理事)任期を 2 年とし、定数を 30 名以内に決める 宮城県知事褒状 須藤光義理事受賞 7 月 第 1 回東北北海道計量協会会長会議 (北海道 定山溪ホテル) 第 2 回東北北海道計量協会会長会議 (福島県 10/6) 9 月 第 2 回理事会 三委員会設置 ①計量みやぎ編集委員会 ②みやぎ計量のひろば委員会 ③規格委員会 10 月 東北北海道計量大会及び第 48 次連合会総会 於：福島県飯坂温泉 「ホテル吉川屋」 会長表彰 二階堂亮一郎受賞	2 月 特定計量器定期検査打合せ (於：県庁 36 市町村) 3 月 県・仙台市・協会事務連絡会議 (於：仙台市計量検査所) 4 月 計量検定所長 守正志就任 10 月 東北北海道計量行政会議 (福島市) 11 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 11 年 (1999)	11 月 JIS 改正に伴う材料試験機講習会 於：日本計量会館	10 月 流通関係事業者の計量管理について 於：産業技術総合センター 元神奈川県計量検定所長 白石清講演 11 月 計量記念日事業「'99 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎アネックス ・血圧、体脂肪測定 ・じゃがいもの目方当て ・仙台市内 68 小学校の応募ポスター展示 ※バザー売上金 21,540 円光のページェントへ寄付 11 月 (社) 日本計量士会東北支部協議会 於：青森市「アラスカ会館」 11 月 「計量法の動向」検定所 武田巖技術次長 「やさしい計量法の解説」検定所 古川隆技術主幹	 会員証（計量管理優良事業場） プラスチェック製 290mm×105mm
平成 12 年 (2000)	4 月 中央三団体の統合 (社) 日本計量協会・(社) 日本計量士会・日本計量管理協会が統合し、(社) 日本計量振興協会 として発足 初代会長 川田裕郎選任 6 月 (社) 日本計量協会第 1 回通常総会 於：東京都虎ノ門パストラル 6 月 計量三団体合同功労者表彰 日本計量協会会長表彰 二階堂亮一郎受賞 7 月 (社) 日本計量振興協会地区協議会 11 月 計量記念日全国大会 於：虎ノ門パストラル	2 月 「世界最大すばる望遠鏡と電子天秤」 於：仙台プラザ 新光電子(株) 岡崎稔、藤岡宇太郎講師 2 月 東北六県北海道事務局長会議（於：福島市 飯坂温泉） 4 月 久保良一仙台市計量検査所長に顧問委嘱 5 月 第 1 回理事会 部会規程、計量士部会細則改正 6 月 計量協会第 43 回通常総会（ホテル佐勘） 定款の一部改正（材料試験機の検査事業追加） 役員定数 30 名以内 知事褒賞 笠原秀理事受賞	2 月 特定計量器定期検査打合せ（於：県庁 36 市町村） 3 月 県・仙台市・協会事務連絡会議（於：計量検定所） 4 月 仙台市計量検査所長 久保良一就任 7 月 東北北海道計量行政協議会 11 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 12 年 (2000)	(特別講演) 「実力とは何か」 元 NHK アナウンサー 羽佐間正雄 「気象予測と計量」 3 月 (社) 日本計量振興協会補助事業・消費者自主計量革新事業 家庭用計量器無料検査 (白石市・石巻市・多賀城市・塩釜市 149 台)	10 月 東北北海道計量大会及び第 49 次連合会総会 於：北海道札幌市 定山溪万世閣 会長表彰 南八理事受賞 7 月 第 1 回東北北海道計量協会会長会議 (北海道 定山溪) 日本計量振興協会会費及び地区協議会審議 第 2 回東北北海道計量協会会長会議 (青森県 10/5) 会長会議の運営、地区協議会と連合会との関係審議 9 月 第 2 回理事会 代検査手数料の改正決議 11 月 計量記念日事業「2000 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎アネックス 参加者 1, 500 人 ・骨の硬さ、血圧、体脂肪 ・ジャンボカボチャ測定 ・計量ポスター募集 (荒浜、荒町、福岡小学校 113 枚) ・市内 FM 放送 3 社放送 (魔法の泉・FM じょんぱ・ラジオ 3) 10 月 第 22 回計量士会東北地区協議会 (於：福島市 杉妻会館) 11 月 計量記念日全国大会 (於：東京都虎ノ門パストラル) 通商産業大臣表彰 菅原功受賞 11 月 計量法に関する講習会 「生鮮食品と計量法」「質量基技術準の改正」	
平成 13 年 (2001)	5 月 (社) 日本計量振興協会第 2 回通常総会 会費案、監事専任 5 月 日本計量振興協会表彰式 会長表彰 和田岑生理事受賞	1 月 労働関係セミナー 「セクシャルハラスメント防止対策について」 (財)21 世紀職業財団みやぎ事務所長 工藤鏡子講師	2 月 特定計量器定期検査打合せ (於：県庁 36 市町村) 3 月 県・仙台市・協会業務打合せ会 (於：仙台市計量検査所)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 13 年 (2001)	11 月 計量記念日全国大会 (特別講演) 「計るということ」 日本経済新聞社論説委員 計量行政審議会委員 鳥井弘之	3 月 優良事業所視察研修 (株)タニタ秋田工場 4 月 鳥越文彦計量検定所長に協会顧問委嘱 5 月 第 1 回理事会 定款の一部改正 ・事業の改正 ・指定定期検査機関の導入 ・事務所の追加 (日の出町) 6 月 第 2 回理事会 事業部会名称変更 広報委員会・事業委員会・総務委員会 6 月 計量協会第 44 回通常総会 (ホテル佐勘) 指定定期検査機関事業追加 計量管理部会 8 月 東北北海道計量大会及び第 50 次連合会総会 於：青森市 ホテル青森 参加者 267 名 会長表彰 平野節夫副会長受賞 特別功労賞 佐々木元弘受賞 功 勞 賞 小谷日出忠受賞 8 月 東北六県・北海道計量協会会長会議 (青森厚生年金会館) 日本計量振興協会の計量法普及事業費問題審議 10 月 消費者自主計量推進事業 家庭用計量器無料検査 (富谷町・大衡村・大和町 62 台) 10 月 「計量法の一部を改正する法律」説明会 環境計量事業者	4 月 鳥越文彦計量検定所長就任 8 月 東北北海道計量検定所長会議 (青森市) 10 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 13 年 (2001)		11 月計量記念日事業「2001 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎アネックス館 ・「健康と計量」 骨の硬さ、血圧、体脂肪 ・米の重さ ・計量ポスター募集（荒浜、荒町、川前小 116 枚） ・植木鉢、記念品提供 11 月 計量管理優良事業所視察 つくば新光電子（株） 11 月 企業で働く従業員の生活習慣病とその対策 医学博士 佐藤昭吉 11 月 第 23 回計量士会（計量士部会）東北地区協議会 於：東北学院同窓会館 ・材料試験機、代検査料金等 12 月 東北六県北海道事務局長会議 於：青森市 青森アラスカ会館 ・連合総会、計量大会のあり方審議 ○ 計量教習センター入所（齋藤晴海）	
平成 14 年 (2002)	5 月 日本計量振興協会表彰式 会長表彰 南八理事受賞 6 月 計量法施行及び（社）福島県計量協会 50 周年式典（福島市 杉妻会館） 11 月 計量記念日全国大会 （特別講演） 「ロボット開発の現状と未来社会」 東京大学院 井上博允講師	4 月 1 日 仙台市指定定期検査機関として指定 4 月 「仙台市指定定期検査機関」検査業務開始 ○ 泉分室長に武田巖就任（検定所退職） 6 月 計量協会第 45 回通常総会（ホテル佐勘） 定款の一部改正 分室を泉・日の出町に置く 宮城県知事褒賞 千葉信弘副会長受賞	3 月 特定計量器定期検査打合せ（於：県庁） 3 月 県・仙台市・協会業務打合せ会（於：県計量検定所） 4 月 仙台市計量検査所長 久保良一転出 7 月 東北北海道計量検定所長会議（山形市） 10 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 14 年 (2002)		7 月 東北北海道計量大会及び第 51 次連合会総会 於：山形県 山形テルサ 参加者 230 名 会長表彰 工藤宗佐常務理事受賞 7 月 東北六県・北海道計量協会会長会議（山形県 ホテルキャッスル） 9 月 計量大会準各部会開催 15 年度宮城計量大会のため ・総務部会、宿泊懇親部会、運営部会 10 月 計量記念日事業「2002 みやぎ計量のひろば」開催 於：太白区長町 ザ・モール仙台長町店 ・骨の硬さ、血圧、体脂肪、腕力 ・ボールの測定、サッカーボールの重さ当て ・計量ポスター募集（荒浜、川崎、古城） 11 月 計量管理・先端産業視察 さいたま市大正製薬(株)大宮工場 富士写真光機(株) 12 月 「質量に関する講習会」(於：ホテル白萩 86 名) 「環境計量証明事業に関する講習会」 (於：ホテル白萩 65 名) 12 月 東北六県北海道事務局長会議 於：山形市 ホテルキャッスル ・各県規程、財政状況、指定機関の審議 12 月 第 24 回計量士会（計量士部会）東北地区協議会 於：盛岡市 こずかた会館 ○ 計量教習センター入所（庄子学）	

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 15 年 (2003)	2 月 「材料試験機検査員講習会」 於：東京都試験校正センター 2 月 「JCSS」認定講習会 於：仙台市みやぎ婦人会館 5 月 (社) 日本計量振興協会第 4 回通常総会 会長表彰 小谷日出忠理事受賞 9 月 全国計量協会・計量士会事務担当者会議 於：東京都日本計量協会 11 月 計量記念日全国大会 於：国立京都国際会館 (特別講演) ・国際法定計量機構の活動と法定計量 のグローバル化 ・欧州法定計量機構の活動と欧州の 計量器 10 月 計量管理受託事業検討委員会 10 月～3 月 3 回開催 12 月 指定定期検査機関推進に関する全国会議 於：東京都牛込笹塚地域センター ・指定定期検査機関の現状と問題点及 び課題 (事例発表)	6 月 計量協会第 46 回通常総会 (ホテル佐勘) 定款の改正 (会員の資格喪失、備え付け帳簿及び書類) 8 月 東北北海道計量大会及び第 52 次連合会総会 於：江陽グランドホテル 参加者 230 名 功労者表彰 加藤啓二常任理事、鈴木秀子受賞 8 月 東北六県・北海道計量協会会長会議 (ホテル佐勘) 「計量の歴史的考察」箕輪善藏日本計量士学会会長 11 月 計量記念日事業「2003 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎大町館前 ・計量器の展示 ・健康測定 ・盲導犬の体重測定 ・111cm への挑戦 ・111g を当てよう ・血圧計の検査 (老人クラブ) ・計量横断膜の掲示、ポスター、チラシの配布 11 月 第 25 回計量士会 (計量士部会) 東北地区協議会 於：青森市 アラスカ会館 ・日本郵政公社の計量管理 ・JCSS 校正の技術・教育 11 月 平成 15 年度秋の叙勲 鍋島綾雄会長 旭日双光章受賞 12 月 東北六県北海道事務局長会議 於：メルパルク仙台 ・連合総会のあり方	2 月 特定計量器定期検査打合せ (於：県庁 4 市 6 郡) 2 月 県・仙台市・協会業務打合せ会 (於：県計量検定所) 7 月 東北北海道計量検定所長会議 (宮城県) 10 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催 商政課長出席

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 16 年 (2003)	1 月 日本郵政公社の計量管理業務受託に関する東北・北海道ブロック説明会 於：メルパルク仙台 2 月 第 2 回全国計量士大会 於：東京マツヤサロン 5 月 (社) 日本計量振興協会第 5 回通常総会 会長表彰 加藤啓二常任理事受賞 6 月 材料試験機検査講習会 日本計量会館 7 月 日本郵政公社 計量管理受託事業運営委員会 (第 1 回から第 3 回) 11 月 計量記念日全国大会 於：虎ノ門パストラル (特別講演) 「国際競技大会における計測の実例」 セイコープレジジョン(株) ソリューション事業部 石川守昭、高根輝夫講師	2 月 各部会合同研修会 於：宮城県産業技術総合センター ・食産業への支援事例及び今日の商品企画の手法 2 月 優良企業・先端産業視察 女川原子力発電所、女川原子力センター 3 月 東北六県・北海道計量協会臨時会長会議 於：メルパルク仙台 4 月 武田巖専務理事就任 佐藤尚洋泉分室長就任 熊谷昇計量検定所長に顧問委嘱 5 月 日本郵政公社計量管理業務受託に係わる講習会 於：仙台アエル (日計振主催) 6 月 計量協会第 47 回通常総会 (ホテル佐勘) 知事褒賞 和田岑生常任理事受賞 6 月 日本郵政公社計量管理受託開始 8 月 優良事業所視察研修 新潟県(株)田中衡器 9 月 JCSS 普及研修会 (計量士部会) 於：宮城県産業技術総合センター 10 月 東北北海道計量大会及び第 53 次連合会総会 於：秋田キャッスルホテル 参加者 200 名 会長表彰 (株)エヌビー東北 竹田甫男受賞	2 月 特定計量器定期検査打合せ (於：県庁 5 市 9 郡) 4 月 熊谷昇計量検定所長就任 10 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 16 年 (2004)		11 月 計量記念日事業「2004 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎大町館前 参加者 1, 000 名 ・計量器の展示 ・健康測定 ・重さ当て（ケヤッキー君の体重測定） ・111g を当て用他 11 月 第 26 回計量士会（計量士部会）東北地区支部協議会 於：福島県 杉妻会館 ・郵政公社の計量管理受託業務について	
平成 17 年 (2005)	5 月 （社）日本計量振興協会第 6 回通常総会 会長表彰 竹田甫男受賞 6 月 日本郵政公社計量管理受託事業運営委員会（第 1 回～第 3 回） 11 月 計量記念日全国大会 於：虎ノ門パストラル (特別講演) 「進化するカーナビゲーション」	1 月 「危機管理のあり方と宮城県沖地震の再来への備え」研修 宮城県総務部危機対策課防災対策班 菅原厚講師 「地震に強い建設物を目指して」 宮城県土木部建築宅地課建築指導班 石田正道講師 於：仙台アエル 2 月 東北六県・北海道事務局長会議 於：秋田キャッスルホテル ・会員大会防止策 ・新規事業の計画状況 2 月 平成 16 年度公益法人立入検査 宮城県産業経済部産業立地推進課 ・法人の業務運営、会計処理、事業内容 6 月 計量協会第 48 回通常総会（ホテル佐勘） 知事褒賞 加藤啓二任理事受賞 田中雄一検定所長顧問委嘱 6 月 日本郵政公社計量管理受託事業運営委員会出席 9 月 優良事業所視察（群馬県 参加者 21 名） ○ 計量教習センター入所（高橋悠）	2 月 特定計量器定期検査打合せ（於：築館合同庁舎） 4 月 田中雄一検定所長就任 4 月 県・仙台市・協会業務打合せ会（於：仙台市計量検査器財保管室） 10 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 17 年 (2005)		11 月 計量記念日事業「2005 みやぎ計量のひろば」開催 於：藤崎大町館前 11 月 東北北海道計量大会及び第 54 次連合会総会 於：盛岡市ホテルメトロポリタンニューウイング 参加者 150 名 11 月 第 3 回理事会 ・計量協会設立 55 周年式典 11 月 第 27 回計量士会（計量士部会）東北支部協議会 於：山形市 ホテルキャッスル 11 月 公益法人立入検査（県）	
平成 18 年 (2006)	8 月 ローソン代検査業務講習会東北ブロック 於：仙台アエル 8 月 第 1 回計量器コンサルタント制度検討委員会 9 月 計量士部会第 1 回運営委員会 11 月 日本計量振興協会理事会 於：チサンホテル大阪 ・計量士会費検討委員会 ・平成 20 年施行「公益法人制度」検討小委員会 ・計量士研修等審議 11 月 計量記念日全国大会 於：虎ノ門パストラル (特別講演) 「最近の画像診断CT・MRI による診断の実際」	1 月 各部会合同研修（於：日生ビル） ・地震と建築の耐震技術 東北工業大学建築学科 舟木直巳工学博士 ・コンクリートの話 東北工業大学建築学科 最知正芳工学博士 2 月 東北六県・北海道事務局長会議（盛岡市） 3 月 特定計量器定期検査打合せ（涌谷町・美里町） 3 月 第 4 回理事会 創立 55 周年（法人化 50 周年）案 石川光次郎県会議員顧問委嘱案 6 月 計量協会第 49 回通常総会（江陽グランドホテル） 6 月 (社) 宮城県計量協会創立 55 周年記念（法人化）50 周年記念式典 於：江陽グランドホテル (第 1 部 記念式典) 宮城県知事・仙台市長・計量行政室長・日計振会長出席	4 月 県・仙台市・協会業務打合せ会（於：計量検定所） 10 月 計量記念日事業 県・仙台市・協会共催

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 18 年 (2006)		知事表彰 二階堂、山口受賞 (第 2 部 特別講演) 元宮城大学学長 野田一夫 (第 3 部 祝賀会) 9 月 優良事業所視察 山形県新庄市 (株) ヨコタ東北 11 月 東北北海道計量大会及び第 55 次連合会総会 於：福島県飯坂 摺上亭大鳥 11 月 計量記念日事業「2006 みやぎ計量のひろば」開催 於：仙台市八木山動物公園 ・ヤギ、カメの重さ ・蛇の長さ ・動物クイズ 11 月 公益法人立入検査 (県) 12 月 第 28 回計量士会・計量士部会東北支部協議会 於：メルパルク仙台	
平成 19 年 (2007)	2 月 第 5 回全国計量士大会 於：シーサイドホテル舞子ビラ神戸 ・計量士のあり方 (資質向上調査) ・委員会他各地区の諸報告 ○ 第 1 回計量士資質向上研修教育検討講習会 於：東京都、大阪府 ・法令規格 ・計量管理概論 ・計量器概論	1 月 新年役員会 (一番町 北の一) 1 月 各部会合同研修 「裁判員制度について」 仙台地方裁判所総務課長補佐 菅原徳靖 2 月 東北六県・北海道事務局長会議 (福島県) 6 月 計量協会第 50 回通常総会 (ホテル佐勘) 鍋島綾雄会長退任 鍋島孝敏会長就任 宮城県計量検定所長 太田廣顧問委嘱	4 月 太田廣計量検定所長就任 10 月 東北北海道計量検定所所長会議 (北海道札幌市 厚生年金会館)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 19 年 (2007)		9 月 優良事業所視察 岩手県 ・盛岡セイコー工業(株) ・及源鋳造(株) 10 月 東北北海道計量大会及び第 56 次連合会総会 於：北海道札幌市 厚生年金会館 11 月 計量記念日事業「2007 みやぎ計量のひろば」開催 於：仙台市八木山動物公園	
平成 20 年 (2008)	2 月 第 6 回全国計量士大会 於：東京都 コンチネンタル東京ベイ ※岩手・宮城内陸地震 H20. 6. 14 M7. 2 震度 6	2 月 計量各部会合同研修会（於：仙台アエル） ・健康管理、メタボリックシンドローム 保健師 山田真知子他 6 月 計量協会第 51 回通常総会（ホテル佐勘） 吉田俊文（泉分室）常務理事就任 9 月 優良事業所視察（白河市） ・住友ゴム工業（株） ・白川精機（株） ・アサヒビール本宮工場 10 月 東北北海道計量大会及び第 57 次連合会総会 於：青森県五所川原 11 月 計量記念日事業「2008 みやぎ計量のひろば」開催 於：仙台市八木山動物公園 ○ 計量教習センター入所（白井康裕）	

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 21 年 (2009)	1 月 計量器コンサルタント資格認定講習会 於：仙台卸商センター卸町会館 5 月 (社) 日本計量振興協会 ・新公益法人制度見直し整備 ・新体制構築のための調査検討 ・定款、規程類の改定 ・新会計制度の導入 6 月 郵政計量管理受託業務に係る研修会 於：仙台アエル エルソーラ仙台 7 月 事務担当者会議 於：日本計量会館 11 月 計量記念日全国大会 於：東京 コンチネンタル東京ベイ (特別講演) 「宇宙開発利用の現状と将来」 12 月 計量士技術講習会 (日計振) 電子式自動はかりの校正と不確かさ評価 の実務	1 月 計量器コンサルタント資格認定講習会 於：仙台卸商センター卸町会館 受講者 36 名 2 月 各部合同研修会 (於：サンフェスタ卸町会館) ・計量法研修会 3 月 総務委員会 就業規則の一部改正 (基準賃金・諸手当・役職手当・通勤手当・時間外手当・旅費規程) ・22 年度計量大会組織分担の検討 ・新公益法人制度 6 月 計量協会第 52 回通常総会 (仙台国際ホテル) 佐藤正孝計量検定所長顧問委嘱 8 月 常任理事会及び総務委員会 ・平成 22 年度計量大会組織分担 (運営部会・宿泊懇親部会・視察見学部会・会長会議部会) ・公益法人制度審議 9 月 優良事業所視察 ・(株) ミットヨ宇都宮事業所 ・富士通(株) 那須工場 9 月 常任理事会・理事会 平成 22 年度計量大会準備委員会設立 (総務委員会・宿泊懇親部会・視察見学部会) ・大会実行委員会運営要領、開催要領 9 月 3 部会 分担・賛助金について	4 月 佐藤正孝計量検定所長就任

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 21 年 (2009)	3 月 計量器校正技術者研修講座（日計振） 3 月 第 7 回全国計量士大会 於：東京都 コンチネンタル東京ベイ ・計量士関係事業の取組 ・中小企業向け計量研修の取組 ・グローバル化時代の計量士の歩む道	10 月 計量記念日事業「2009 みやぎ計量のひろば」開催 於：ザ・モール長町 10 月 東北北海道計量大会及び第 58 次連合会総会 於：山形市十日町「ホテルキャッスル」 ○ 計量協会・計量士会長会議 ・新公益法人制度について 11 月 東北六県計量士会・計量士部会東北支部協議会 於：岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡 ・代検査の実施状況 ・郵政計量管理業務 ・計量士の将来展望と人材育成について 12 月 総務・宿泊懇親部会 大会収支・県内外来賓者・記念品 12 月 視察見学会 視察場所・昼食会場選定	
平成 22 年 (2010)	○ （社）日本計量振興協会 ・新公益法人制度に対応し、団体事業運営 進捗、経理体制等の見直し。 ・理事手数の見直し、新会計制度の導入 ・定款、規程類の改定	1 月 視察見学会 視察場所現地視察 3 部会合同会議 検討結果報告 2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：山形市 ホテルキャッスル ・計量士に係る講習会・研修会について ・計量士の活用について 3 月 講習会「商品量目等の計量管理について」 計量検定所 古川隆講師 3 月 常任理事会・理事会 ・平成 22 年度計量大会の記念講演、記念事業、記念品等検討 ・栗原地震義援金贈呈	4 月 県・仙台市・協会業務打合せ会（於：計量検定所）

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 22 年 (2010)	○ (社) 日本計量振興協会 新公益法人 H24. 4 一般社団法人へ移行 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	6 月 計量協会第 53 回通常総会 (仙台国際ホテル) ・公益法人移行協議 ・大会日程等協議 10 月 東北北海道計量大会及び第 59 次連合会総会 於：ホテル佐勘 参加者 200 名 (記念品事業) 車椅子体重計・デジタル体重計 贈呈 宮城県拓桃医療療育センター 仙台社会福祉法人 ありのまま舎 (講演会)「チームワークの真の意味」 マーティ・キーナート (東北楽天シニアアドバイザー) (視察) 白石方面 10 月 計量記念日事業「2010 みやぎ計量のひろば」開催 於：ララガーデン長町 11 月 優良事業所視察 (福島県 いわき市 古川電池 (株)) 参加者 23 名	
平成 23 年 (2011)	2 月 第 9 回全国計量士大会 於：大阪市 シェトラン都ホテル大阪 ※東日本大震災 H23. 3. 11 14:16 M9. 0 (日本周辺における観測史上最大の地震) 震度 7 10 月 (社) 日本計量振興協会、一般社団法人 移行申請	1 月 公益法人立入検査 (県産業立地推進課) 2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 (エルソーラ仙台) 3～5 月 東日本大震災被災会員の調査 (電話紙面調査) 調査対象 245 名 被災会員 (全壊) 39 名 会員の 16% 脱会会員 11 名 会費免除会員 21 名 4～5 月 ※災害義援金 (全国の計量団体から当協会へ義援) 青森県協・秋田県協・山形県協・兵庫県協・関東甲信越地区協 日計振会費減免 (2 年間 50%) 3 月 31 日 質量に係わる計量証明事業の廃止 6 月 計量協会第 54 回通常総会 (仙台御町会館) ・一般社団法人移行改定定款、新役員の等の承認 ・赤間明計量検定所長顧問委嘱 ・草刈謙一専務理事就任	4 月 赤間明計量検定所長就任 4 月 県・仙台市・協会業務打合せ会 (於：計量検定所)

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 23 年 (2011)	7 月 地区計量協会・計量士会事務担当者会議 於：日本計量振興協会 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	10 月 東北北海道計量大会及び第 60 次連合会総会 於：秋田県秋田市 秋田ビューホテル 10 月 計量記念日事業「2011 みやぎ計量のひろば」開催 於：イオンスーパーセンター鉤取店 参加者 400 名 ・計量単位、計量法説明 ・果物野菜重さ当て ・111g を当てよう ・計量ミニクイズ ・家庭用はかり無料検査 ・放射能のはなし 11 月 7 日 一般社団法人移行申請（H24. 3. 19 県から認可される）	
平成 24 年 (2012)	2 月 第 10 回全国計量士大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ ○中小企業向け測定の基礎研修会の開催 4 月 日本計量振興協会、一般社団法人へ移行 7 月 計量協会 100 年記念式典 於：東京都 東京會舘 ※ 明治 44 年 7 月 6 日日本度量衡協 会設立から平成 23 年で 100 年 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	1 月 第 1 回測定の基礎研修会開催 於：仙台アエル エルソーラ仙台 受講者 53 名 1 月 公益法人立入検査（県産業立地推進課） 2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：秋田市 秋田ビューホテル 3 月 19 日 一般社団法人移行県認可 3 月 優良事業所視察研修（岩手県奥州市） 参加者 ・(株)デジアイズ 4 月 1 日 「一般社団法人 宮城県計量協会」として移行名称変更登記 10 月 東北北海道計量大会及び第 61 次連合会総会 於：岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡 10 月 計量記念日事業「2012 みやぎ計量のひろば」開催 於：イオンモール名取 ウェストウイング広場 参加 1, 200 名 ・計量単位、計量法説明 ・重さ当て ・健康測定（体脂肪、血圧） ・111g を当てよう ・計量ミニクイズ ・家庭用はかり無料検査 ○ 計量教習センター入所（水上大輔）	4 月 大沼繁幸計量検定所長就任 4 月 県・仙台市・協会業務打合せ会（於：計量検定所）

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 24 年 (2012)		・放射能のはなし ・ライフライン計量器展示 ・日電検電気メーター（初参加） ・県イメージキャラクター「むすび丸」演出 12 月 第 34 回東北六県計量士会（計量協会計量士部会） 於：仙台アエル エルソーラ仙台	
平成 25 年 (2015)	2 月 計量器コンサルタント資格認定講習会 於：メルパルク仙台 2 月 第 11 回全国計量士大会 於：京都市 リーガロイヤルホテル 5 月 地区計量協会・計量士会事務担当者会議 於：東京都 グランドヒル市ヶ谷 6 月 郵政計量管理業務講習会 於：仙台アエル エルソーラ仙台 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	2 月 優良事業所視察研修（県内） 参加者 24 名 ・アイリスオーヤマ(株) 角田工場 ・仙台コカ・コーラプロダクツ(株) 蔵王工場 ・(株) 仙台ニコン 名取 3 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡 10 月 東北北海道計量大会及び第 62 次連合会総会 於：福島県会津若松市 御宿東鳳凰 10 月 計量記念日事業「2015 みやぎ計量のひろば」開催 於：長町駅前プラザ 参加 200 名 ・計量単位、計量法説明 ・重さ当て ・棒はかり作成 ・111g を当てよう ・リボンテープの長さ・家庭用はかり無料検査 ・放射能のはなし ・ライフライン計量器展示 ・日電検電気メーター 11 月 3 月 優良事業所視察研修（群馬・栃木県） 参加者 19 名 ・東邦車輛 群馬 ・県営川治発電所 栃木 ・大阪市シーリング印刷 栃木 12 月 第 35 回東北六県計量士会（計量協会計量士部会） 於：秋田県 秋田拠点センター・アルヴィエ	4 月 亀山弘樹計量検定所長就任

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 26 年 (2014)	2 月 第 12 回全国計量士大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	1 月 第 3 回測定の基本研修会開催 於：仙台アエル エルソーラ仙台 受講者 22 名 2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：福島県 ホテル辰巳屋 10 月 東北北海道計量大会及び第 63 次連合会総会 於：北海道札幌市 ホテルさっぽろ芸文館 10 月 計量記念日事業「2014 みやぎ計量のひろば」開催 於：仙台八木山動物園 参加 350 名 ・計量単位、計量法説明 ・うさぎの重さ当て・111g を当てよう ・放射能のはなし ・ライフライン計量器展示 ・日電検電気メーター ・県イメージキャラクター「むすび丸」演出 11 月 優良事業所視察研修（新潟県） 参加者 16 名 ・新潟東部太陽光発電所 新潟県企業局 阿賀野市 ・安田瓦協同組合 阿賀野市 ・菊水酒造(株) 新発田市 12 月 第 36 回東北六県計量士会（計量協会計量士部会） 於：青森県 青森国際ホテル	
平成 27 年 (2015)	2 月 第 13 回全国計量士大会 於：京都市 リーガロイヤルホテル 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：北海道札幌市 センチュリーロイヤルホテル 10 月 東北北海道計量大会及び第 64 次連合会総会 於：青森県青森市 青森国際ホテル	4 月 鈴木荘一郎計量検定所長就任

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 27 年 (2015)		10 月 計量記念日事業「2015 みやぎ計量のひろば」開催 於：仙台八木山動物園 参加 600 名 ・計量単位、計量法説明 ・カボチャとうさぎの重さ当て・111g を当てよう ・放射能のはなし ・公園ラリークイズ ・ライフライン計量器展示・身長、体重、血圧（子供用含む）、骨密度測定、ストレスチェック ・日電検電気メーター ・仙台赤十字病院が共同参加 ・県イメージキャラクター「むすび丸」、ミクちゃん（日本電気計器検定所）演出 11 月 優良事業所視察研修（青森県） 参加者 16 名 ※青森計量大会と併せて実施 ・アズビル金門青森(株) ・カネショウ(株)尾上工場 12 月 第 37 回東北六県計量士会（計量協会計量士部会） 於：岩手県盛岡市 ホテルメトロポリタン	
平成 28 年 (2016)	2 月 第 14 回全国計量士大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ 11 月 計量記念日全国大会 於：ホテルインターコンチネンタル東京ベイ	2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：青森県青森市 青森国際ホテル 10 月 東北北海道計量大会及び第 65 次連合会総会 於：山形県山形市 ホテルキャッスル	

年 代	日本計量協会・国内計量動向	宮城県計量協会の歩み	計量検定所・関連業界の歩み
平成 28 年 (2016)		10 月 計量記念日事業「2016 みやぎ計量のひろば」開催 於：仙台八木山動物園 参加 1000 名 ・計量単位、計量法説明 ・ヤギの重さ当て・111g を当てよう ・ビニール引っ張りチャレンジ・ライフライン計量器展示・ ・日電検電気メーター ・県イメージキャラクター「むすび丸」演出 11 月 優良事業所視察研修（茨城県） 参加者 17 名 ・東京電力(株)常陸那珂火力発電所 ・日本タンク装備(株)ひたちなか工場 12 月 第 38 回東北六県計量士会（計量協会計量士部会） 於：山形県山形市 ホテルキャッスル	
平成 29 年 (2017)	2 月 第 13 回全国計量士大会 於：京都市 リーガロイヤルホテル	2 月 東北六県・北海道計量協会事務局長会議 於：山形県山形市 ホテルキャッスル	4 月 二瓶徳彦計量検定所長就任